

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年6月24日(日)

午前9時30分～12時

小野市民会館 大ホール

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

〒650-8691

兵庫県神戸市中央区相生町2-2-8 新神戸ビル東館2階

TEL: 078-371-5613

FAX: 078-371-0277

メール: info@hyogodeaf.com

【平成23年度総括報告】

昭和48年に「兵庫県ろうあ連盟」として結成して以来、「一人ぼっちのろうあ者をなくそう」を合言葉に役員と会員が結束しながら組織強化に取り組んできました。平成25年1月15日で40周年を迎えます。

平成2年には社団法人を取得し、運動と事業を展開してまいりました。

平成7年は未曾有の阪神淡路大震災が発生し、情報やコミュニケーションが寸断され困難な状況の中、聴覚障害者救援対策本部を立ち上げ、被災地の聴覚障害者の支援活動を実施し聴覚障害者を励ましました。震災後は聴覚障害者の福祉向上に関するさまざまな活動を展開し、手話通訳制度や聴覚障害関連施設が次々と実現してきました。

平成20年度より公益法人改革の流れに沿って当協会も公益社団法人への移行を進めてきました。この度、県の認可を得て平成24年4月1日より「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として新たに出発をする運びとなりました。

移行に際して、会員の皆さまや関係団体の皆さまからのご理解とご支援を頂いたことに対し心から感謝を申し上げます。

昨年度は県ろうあ者大会や県ろう者新年大会をはじめ各種行事を実施してきました。また近畿・全国レベルの行事も当協会が主管となって実施しました。

第38回近畿ろうあ者体育大会では早期に実行委員会を立ち上げ、体育部を中心に事務局そして阪神ブロックからも実行委員や要員が加わり運営や準備を進めてきました。二日間の大会にたくさんのろうあ者が集い、競技を通じて自己の力を発揮し、チームとしての団結力も見られ盛り上がりました。あらためてこの大会が競技を競う場としても重要な行事である事を再認識する事ができました。

全日本ろうあ連盟及び日本財団主催の手話言語フォーラム（仮称）in 近畿を伊丹アイフォニックホールにて実施しました。

昨年の7月29日、「言語（手話を含む）」と規定された改正障害者基本法案が参議院本会議に於いて全会一致で可決、成立し、8月5日に公布されました。手話を言語としてコミュニケーションをする私たちにとって大変喜ばしい事です。しかし明記しているだけではなんの役にも立ちません。この問題に対してフォーラムでは、シンポジウムやハンガリーの手話言語法に関する講演を通じて「社会反映及び手話は言語である事を広めていく啓蒙活動を起こしていくことが大切だ」ということを明確に示されました。これからの運動をすすめていく上で、大変重要なフォーラムとなりました。

今後もさらなる聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、兵庫すべての県民に聴覚障害関連を始め、福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続き支援ご協力をお願いいたします。

【公益目的事業】

《公一 聴覚障害者の福祉向上のための事業》

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

(1) 手話通訳者等講師養成事業（定款第4条第2号）

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

1. 手話奉仕員養成事業講師講習会（入門課程 実技レベルアップ講座）

開催期間：昼の部 平成23年7月4日（月）～11月14日（月） 全10回

夜の部 平成23年7月7日（木）～9月22日（木） 全10回

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：昼の部 5名（ろう者 3名、聴者 2名） 【修了者 5名】

夜の部 24名（ろう者14名、聴者10名） 【修了者24名】

2. 手話通訳者養成事業講師講習会

兵庫県からの委託事業「コミュニティー支援人材養成事業」として手話通訳者養成事業講師講習会を実施。

開催期間：平成23年10月11日（火）～平成24年3月13日（火）

全30回（基本課程12回、応用課程10回、実践課程8回）

開催場所：神戸市立総合福祉センター、神戸市立婦人会館、あすてっぷ

三田市総合福祉保健センター（観察：平成24年2月19日のみ）

受講人数：基本課程18名【修了者11名】、応用課程18名【修了者14名】、

実践課程19名【修了者16名】

3. 講義手話奉仕員養成事業・手話通訳者養成事業講師講習会（講義編）

開催期間：昼の部 平成23年9月1日（木）～9月29日（木） 全5回

夜の部 平成23年8月30日（火）～10月4日（火） 全5回

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：昼の部 14名（ろう者 5名、聴者 9名）

夜の部 9名（ろう者 8名、聴者 1名）

(2) 地域学習会（定款第4条第3号）

開催場所以外のろうあ者をお招きした講演会をとおして、地方手話などの学習、情報交換の場として設ける。

①神戸 講師：迫田理恵氏（尼崎） テーマ「昭和時代の思い出」

開催日：平成23年10月21日（金）19:00～20:30

開催場所：神戸市立総合福祉センター

参加人数：12名（ろう者9名、聴者3名）

②東播 講師：籠谷忠久氏（神戸） テーマ「ろう者と文化」

開催日：平成23年11月19日（土）13:30～15:00

開催場所：高砂市保健福祉センター

参加人数：37名（ろう者15名、聴者22名）

③阪神 講師：村上里美氏（姫路） テーマ「私と手話」

開催日：平成24年3月10日（土）10:00～12:00

開催場所：小田公民館

参加人数：9名（ろう者4名、聴者5名）

④丹有 講師：柴田昌彦氏（大阪） テーマ「ろう薬剤師として活躍内容とは？」

開催日：平成24年3月18日（日）13:00～16:00

開催場所：三田市総合福祉保健センター

参加人数：20名（ろう者9名、聴者11名）

（3）特別学習会（定款第4条第4号）

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に 今後の運動に結びつけていく。

開催日：平成24年1月9日（月・祝） 13:30～15:00

開催場所：神戸市立総合福祉センター

講師：木村昌範理事

テーマ：「手話言語法」って何??

参加人数：29名（ろう者23名、聴者6名）

（4）講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

講義内容：聴覚障害者福祉制度、聴覚障害者について、手話の基礎知識

聴覚障害者の権利、ろう運動、手話サークルについて

ソーシャルワーク概論、身体障害者福祉概論

手話通訳の理念と仕事、手話通訳者の健康管理

阪神淡路大震災の体験談、防災対策について

等

派遣内容&回数：

内 容	件 数	人 数
高校、大学・短大、専門学校	13	27
聴覚特別支援学校	3	3
奉仕員養成講座	6	7
奉仕員養成講座（講義）	12	23
通訳者養成講座	8	19
通訳者養成講座（講義）	10	22
試験対策講座	4	10
地域手話通訳者登録試験（審査員）	6	11
登録手話通訳者研修会	9	20
登録手話講師研修会	3	4
講演・シンポジウム	30	31
手話学習会	8	17
合 計	112	194

講 師：当協会理事、認定手話通訳者、当協会登録講師

※平成23年度 講師派遣人数：59名

講師研修会：

<パート1>

開催日：平成24年1月28日（土） 14：00～17：00

開催場所：神戸市立総合福祉センター

内 容：講演「手話養成講座における講師の心構え」

～わたしの手話講師体験を通して～

講師 竹越貞美子氏

参加人数：44名（ろう者28名、聴者16名）

<パート2>

開催日：平成24年3月27日（火） 14：00～17：00

開催場所：神戸市立総合福祉センター

内 容：各地域の現状と課題、意見交換

アドバイザー：岩本重雄氏

参加人数：40名（ろう者33名、聴者7名）

講師派遣事業登録試験：実施せず

(5) 手話通訳者認定事業

実施日：平成24年2月25日（土）

会 場：神戸市立総合福祉センター

内 容：筆記、読み取り、口頭試問

受験者：6名（神戸2、加古川1、姫路2、芦屋1）

合格者：0名

(6) 手話通訳者派遣事業

1. 平成23年度認定手話通訳者の派遣状況報告

	派遣実績	
	件数	人数
医 療	0	0
権 利 ・ 義 務	7	16
福 祉	15	24
労 働	102	238
住 居	5	11
教 育 ・ 育 児	122	265
生 活	54	108
生 涯 教 育	102	242
社 会 活 動	105	234
合 計	512	1,138

2. 認定手話通訳者研修会の実施

第1回研修会

日 時 平成23年5月7日（土）

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター

出席者 18名

内 容 平成22年度. 兵聴協派遣事業報告・反省
平成23年度兵聴協方針・事業計画について

第2回研修会

日 時 平成23年7月9日（土）

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター

出席者 6名

内 容 「事例検討～私ならこうする!？」

第3回研修会

日 時 平成23年9月24日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 8名
内 容 「読み取り表現技術」
講 師：川添 雅史氏（手話通訳士）

第4回研修会

日 時 平成23年12月23日（祝・金）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 14名
内 容 「医療現場から見える手話通訳者像」
講 師：小山 秀樹氏（全国手話通訳問題研究会理事・手話通訳士）

第5回研修会

日 時 平成24年3月3日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 9名
内 容 「聞き取り通訳技術 II」
講師：池上 睦氏（兵庫県障害者支援課手話通訳者・手話通訳士）

(7) ろうあ兵庫

2011年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてはトップページに掲載しました。専門部記事については定期的に情報を掲載することができました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、ろうあ運動関係を重点に掲載してまいりたいと思います。

2011年 度	主な内容	ページ 数
4月号	兵庫から全国・被災地へ届けPart1、支援行動隊 等	22
5月号	兵庫から全国・被災地へ届けPart2 等	18
6月号	安心してらせる情報保障を！（アピールパレード）等	18
7月号	兵庫県ろうあ者大会、決算総会 等	20
8月号	ろうあ教育学習会、We Love パンプ・署名活動締切 等	24
9月号	兵青研、We Love パンプ・署名活動報告 等	20
10月号	兵女性つどい、We Love パンプ・署名活動状況 等	22

1 1月号	応益負担 兵庫集会（アピールパレード）、手話言語法 等	2 2
1 2月号	三団体 2 DAY 研修会、手話フォーラム 等	2 0
1月号	新年挨拶、各協会祝賀広告、手話対策部からお知らせ 等	2 2
2月号	第38回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（たつの市） 等	2 2
3月号	障害者総合福祉法 骨格提言の実現を！緊急フォーラム 等	2 2

(8) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業

- ・福祉対策部「鉄道バリアフリー検討推進委員会の取り組みについて」
平成23年4月から9月に「鉄道における課題や現状の情報収集のための聴覚障害者を対象としたアンケート調査」を実施しました。11月23日電車における聴覚障害者のバリアフリーを考える集いを開催し、「約100人のアンケート報告から見えてくるもの」を行いました。アンケート調査結果の報告書は、平成24年度中に考察作業、会社や行政向け提言レポート報告を作成し、発行する予定です。
- ・聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業による兵庫県における聴覚障害者用情報受信装置（地上デジタル放送非対応機種：アイドラゴンⅠ及びⅡ・Ⅱa）所有状況の把握について取組みを行いました。来年度中に集計を行い、内容分析の上、報告を行う予定です。
- ・手話対策部「手話奉仕員養成講座・通訳者養成講座の開講状況」
県下の通訳者養成講座の地域格差をなくすために、『手話奉仕員養成講座、通訳者養成講座 開講状況』アンケート調査の質問内容を検討した。
- ・労働対策部
手話協力員制度、職場適応援助者（ジョブコーチ）事業、障害者職業能力開発校に手話通訳者等の配置、重度聴覚障害者ワークライフ支援事業等の課題を取り上げて順位的に整理してまいりました。新年度も引き継ぎ、コミュニケーション保障と情報保障をどうあるべきか？を調査していきます。

(9) ろうあ相談員など研修事業（生活問題対策事業）

生活問題対策委員会①

日 時：平成23年6月25日（土）午後1時半～4時半

場 所：神戸市灘区ホール1階 会議室

出席者：14名

報告内容：①各地域の情報交換

・住宅用火災警報器及び聴覚障害者向け補助警報装置について説明

②相談員と各市（区）役所・町役場通訳者との連携について

- ・各地域の相談員等名簿、各地域からの取組み状況報告
- ③相談員研修等開催の企画提案書について、その他

生活問題対策委員会②

日 時：平成23年8月25日（土）午後1時半～4時半

場 所：神戸市立総合福祉センター4階 第4研修室

出席者：8名

報告内容：①各地域の情報交換

- ・悪徳商法による被害状況の報告、各地域からの取組み状況報告

②相談員に関する研修及び学習について

「面接技法：最初に相談がもちこまれたとき」について研修

（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

セルフチェック、態度（服装、姿勢等）、傾聴（バイステックの7原則）、
ニーズの明確化

③その他

生活問題対策委員会③

日 時：平成23年11月12日（土）午後1時半～4時半

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

出席者：7名

報告内容：①各地域の情報交換

- ・各地域からの取組み状況報告

②相談員に関する研修及び学習について

「ケース記録の書き方」について研修

（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

- ・相談が終わった後は？（①呑みに行く②記録を書く③綺麗に忘れる、
誰かに喋る）

- ・記録の内容は？（みなさんはどうやってどんな内容を書いています
か？）

- ・記録のポイント、記録用紙の活用

③その他

消費生活フォーラム2011のビラについて

生活問題対策委員会④

日 時：平成24年2月12日（土）午後1時半～4時半

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

出席者：7名

報告内容：①各地域の情報交換

- ・各地域からの取組み状況報告
- ・平成23年度兵庫県内の身障者相談員の現状（H23.12福祉のしおりによる調査より引用）

②相談員に関する研修及び学習について

「事例から考える」の研修

（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

事例検討の流れ、事例の留意点、創作事例の模擬を行う

③その他

- ・平成24年度の計画内容について

(10) 聴覚障害者関連施設部会

県内の聴覚障害者関連施設、事業所関係者が集い、情報交換及び意見交換を行うと共に、障害者自立支援法をはじめ各種事業を展開するための情報収集、討議等を行う。

「障害者総合福祉法骨格提言の実現を！」兵庫集会の開催

日 時 平成24年3月8日（木）13時～15時30分

場 所 神戸東遊園地広場

参 加 160名

(11) 豊岡市手話通訳者等養成・派遣事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および派遣事業を受託して実施する。

1. 豊岡市手話通訳者養成事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者を志す者に対し、必要な手話通訳者の知識や通訳技術の習得を図り、手話通訳者を養成及び豊岡市登録通訳者を対象としたスキルアップ等の研修会を開催した。

【委託元】豊岡市

【日時・件数】10月22日（土）～1月28日（土）・全20回

【場所】豊岡健康福祉センター、豊岡市民会館他

【参加人数】7名

2. 豊岡市手話奉仕員養成事業

豊岡市における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話で日常会話を行うに必要な手話語彙および手話表現技術の習得を図り、聴覚障害、聴覚障害者の生活や関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるため養成講座を開催した。

【委託元】豊岡市

【日時・件数】 6月17日（金）～8月26日（金）・全10回

【場所】 豊岡市民会館他

【参加人数】 9名

3. 豊岡市要約筆記者派遣事業

聴覚障害者等に対し、要約筆記者を派遣する事で社会参加を促進する。派遣申請があった場合、その内容を審査し適正と認めた場合は要約筆記者を派遣する。

【委託元】 豊岡市

【件数】 17件

(12) たじま聴覚障害者センター（就労継続支援B型事業）

障害者自立支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する聴覚障害者のうち、主に高齢者と重複障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と下請作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施している。

【日時】 月曜日～金曜日 9時～16時

【場所】 兵庫県豊岡市京町12-73 たじま聴覚障害者センター内

【定員】 20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
開所日数	21	22	22	21	23	22	22	22	19	19	21	23
利用人数 (延べ)	307	328	348	333	355	353	328	290	276	287	316	341
利用率 (%)	69.7	71.3	79.0	72.3	77.1	80.2	71.3	65.9	60.0	62.4	75.2	74.1

【作業内容】 請負作業 …ポリちぎり（歯磨きチューブ・醤油さし）作業・自動車部品のゴムバリちぎり、モチーフ色付け

自主作業 …アルミ缶回収・自主製品製作、販売（ふくろう人形他）

施設外就労…豊岡市福祉事務所内清掃業務

豊岡市障害者受託作業関連事業（出石精和園地域支援センター）と連携しながらお土産店等に自主製品を販売委託する方法で進めている。

(13) はりまふくろうの家 (就労継続支援B型事業)

障害者自立支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、引きこもりや、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行うとともに、一般就労等へ移行に向けて支援を実施する。

【日時】 月曜日～金曜日 8:30～16:00

【場所】 姫路市東延末2-5 1中川ビル1F 事業所内・外

【定員】 18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
開所日数	20	19	22	21	22	18	21	22	18	18	21	22
利用人数 (延べ)	154	149	164	165	148	137	166	167	139	145	153	160
利用率 (%)	42.8	43.6	41.4	43.7	37.4	42.3	43.9	42.2	42.9	44.8	40.5	40.4

《公-2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業》

(1) 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持って、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に、養成講座を実施しました。

内 容	日 程	回 数	受 講 人 数	開 催 地
基本課程	9/5～2/13	20	12人 (9人)	相生市
応用課程	9/17～2/25	20	21人 (19人)	西宮市
実践課程	7/12～10/4	10	12人 (11人)	洲本市
実践課程	9/7～11/30	10	17人 (16人)	丹波市

(2) 要約筆記者養成事業

要約筆記者の養成及び指導者養成を実施しました。

事業名	実施期間	回数	受講者(内修了者)	会 場	
要約 筆記者	応用課程	9/7～10/19	5	17人 (17人)	加東市
	応用課程	11/5～12/10	5	23人 (18人)	豊岡市
	応用課程	1/22～2/19	5	29人 (26人)	情報センター
	基礎課程講師養成講座	10/1～10/29	3	14人	三田市
	基礎課程講師養成講座	11/6～11/27	3	17人	姫路市

※ 要約筆 記者養成 カリキュ ラム関係	全国指導者養成研修	9日間	5人	大阪市
	指導者養成研修の伝 達研修	1	61人	情報センター
	2011年度全国統一要 約筆記者認定試験	1	受験33名	情報センター

(3) 盲ろう者向け通訳・介助員養成事業

盲ろう通訳・介助員	養成講座	5/13～7/15	20	24人 (23人)	神戸市
-----------	------	-----------	----	-----------	-----

兵庫県盲ろう者向け通訳・介助員研修会

日 時	場 所	受講人数	研修内容	備 考
4/10 (日) 10～12 時 30 分	情報センター	48 人	盲ろう児について	兵庫盲ろう者友の会 事務局長 平井裕子 友の会 山田育子
13 時 30 分～ 16 時		25 人	グループワーク 盲ろう通訳介助活動の振り返り	
7/2 (土) 13～15 時	情報センター	90 人	講演「通訳・介助員に望むこと」	東京盲ろう者友の会 藤鹿一之氏
9/11 (日) 10 時 30 分～ 15 時 30 分	豊岡市 市民プラザ	32 人	触手話のポイント 盲ろう疑似体験 ガイド実習	兵庫盲ろう者友の会 事務局長 平井裕子
10/29 (土) 10～15 時	加古川市 立総合福祉会館	46 人	ロービジョン・ロールプレイ	兵庫盲ろう者友の会 事務局長 平井裕子
12/10 (土) 10～15 時 30 分	洲本市健康福祉館	25 人	総合実習	兵庫盲ろう者友の会 事務局長 平井裕子 友の会 岩崎順子 友の会 山田育子
2/18 (土) 10～12 時 30 分	神戸市立 総合福祉センター	35 人	音声・弱視手話・触手話実習	兵庫盲ろう者友の会 事務局長 平井裕子 友の会 岩崎順子 友の会 山田育子
13 時 30 分～ 16 時		16 人		

(4) 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入りビデオテープ及び自主制作ビデオの貸出しを行いました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	10	9	13	13	11	6	12	9	6	7	17	13	121
本数	20	20	33	31	26	15	27	20	14	29	45	34	323

利用区分の開始に伴い、登録者カードの変更
ビデオライブラリーの分類別配置に整理

(5) ろうあ者相談事業

ろうあ者悩みの相談室・・・ろうあ者相談員 甲斐 (水・金 10～18時)

移動相談・・・・・・・・・・相談員 甲斐 (月1回 金曜)
(但馬地域 相談員 小林)

【ろうあ者ホットライン】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
センター	12	10	29	25	25	14	35	25	20	12	8	23	238
移動相談	相生市 2	三木市 2	稲美町 6	香美町 3	篠山市 3	市川町 1	伊丹市 5	豊岡市 2	太子町 2	小野市 1	加古川 3	川西市 2	32

〔相談内容〕

- ・制度の相談：(年金、遺産相続、など)
- ・家庭・生活の相談：(生活スキルのない聴覚障害者への支援、視力低下、日常生活用具について など)
- ・就労の相談：(職場内の人間関係 など)
- ・コンサルテーション

(6) IT機器活用研修事業

1. パソコン相談の実施

①パソコン相談 (平日)

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	適宜
相談受付者	職員
相談件数計	17件

②パソコン相談 (土曜)

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	隔月1回 第3土曜日 (午後1時～5時 予約制) を基本 5月21日、7月9日、9月17日、11月21日、1月21日、3月3日
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置
相談件数計	30件

③但馬地域パソコン相談

相談場所	たじま聴覚障害者センター
相談日時	隔月1回第2土曜日、第4土曜日のいずれか (13:00～17:00 予約制)
相談受付者	聴覚障害者担当相談員
相談件数計	11件

④盲ろう者向けパソコン相談

相談場所	盲ろう者自宅（訪問型相談）
相談日時	盲ろう者からの要請を受け日程相談
相談受付者	盲ろう者担当PC相談員
相談件数計	14件

⑤イベント型パソコン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	10月8日（土）11：00～15：00
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）
相談件数計	10件

⑥スマートフォン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	10月8日（土）11：00～15：00
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）
相談件数計	40件

（2）聴覚障害者向PC講習会の実施

1. 春季講座

テーマ：「はじめてでも大丈夫 パソコン入門」

日時：6月13日（月）、20日（月）、27日（月）9：45～12：15（計7.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：5名（ろう者3名、難聴者2名）

2. 夏季講座

テーマ「ワード基礎講座」

日時：7月4日（月）、11日（月）、25日（月）9：45～12：15（計7.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：6名（ろう者3名、難聴者3名）

テーマ「ワード基礎 補講」

日時：8月1日、（月）10：00～12：00（計2時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：6名（ろう者3名、難聴者3名）

テーマ「携帯活用講座～スマートフォン～」

日時：8月27日（土）14：00～16：30（計2.5時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：26名（ろう者22名、難聴者4名）

3. 秋季講座

テーマ「デジタル写真を使ってはがきを作ろう！」

日時：11月21日（月）、28日（月）、12月5日（月）、12日（月）、19日（月）

10：00～12：00（計10時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：7名（ろう者5名、難聴者2名）

4. 冬季講座

テーマ「エクセル関数講座」

日時：3月10日（土）、17日（土）10：00～17：00（計12時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室

参加人数：5名（ろう者1名、難聴者4名）

（7）聴覚障害者向けのビデオの自主制作事業

1. 聴覚障害者向けビデオの自主制作（全14タイトル）

No.	ビデオタイトル	時間 (分)	本数
1	ひょうご聴障ネット設立5周年記念講演会 「私たちが創ろう、暮らしやすい社会を！」 講師 日本障害者協議会常務理事 藤井克徳氏 対談 淡路ふくろうの郷 大矢 暹氏	150分	5本
2	東日本大震災の被災地へ 神戸からのメッセージ① 「こころのケアについて 1. 被災経験者のあなたへ 2. 東日本大震災支援者のあなたへ」 兵庫県立聴覚障害者情報センター相談員 甲斐更紗	10分	5本
3	東日本大震災の被災地へ 神戸からのメッセージ② 「災害時における聴覚障害者への支援について（留意点）」 兵庫県立聴覚障害者情報センター所長 嘉田 真典	10分	5本
4	東日本大震災の被災地へ 神戸からのメッセージ③ 「兵庫から被災地への応援メッセージ」 兵庫県聴覚障害者協会理事長 本郷善通氏 他全11名	20分	5本
5	東日本大震災の被災地へ 神戸からのメッセージ④ 「これだけは知っておこう！原子力発電・放射線関連用語」 兵庫県立聴覚障害者情報センター所長 嘉田 真典 (関西電力株式会社神戸支店監修)	15分	5本
6	聴覚障害者向け情報発信ビデオ	30分	5本

	センターニュースNo.1 (手話カフェ5周年、淡路ふくろうの郷開所5周年、つつうらうら等)		
7	平成23年度「聞こえ」を学ぶセミナー (手話版) 「大学における情報支援について」 講師 関西学院大学 松岡 克尚氏 「ノートテイクの立場から」 講師 井上 恵梨子氏 「利用者の立場から」 講師 小浦 萌子氏	120分	10本
8	平成23年度「聞こえ」を学ぶセミナー (字幕版) 「大学における情報支援について」 講師 関西学院大学 松岡 克尚氏 「ノートテイクの立場から」 講師 井上 恵梨子氏 「利用者の立場から」 講師 小浦 萌子氏	120分	10本
9	第29回兵庫県ろうあ者大会記念講演 (尼崎市) 「軍艦島 (端島) におけるろうあ者の生活について」 講師 福岡市聴力障害者福祉協会評議員 吉田 宏氏	120分	5本
11	第25回兵庫県ろうあ者敬老会記念講演 「神戸ローアハウスの思い出」 講師 村井 義忠氏	70分	5本
12	第38回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい (たつの市) 記念講演「NHK手話ニュースキャスターと私」講師 那須 英彰氏 アトラクション「手話落語」喜楽舎 馬次郎氏 「マジックショー」高瀬 宏氏	120分	5本
13	聴覚障害者向け消防ビデオシリーズ4 「火災予防について2012 ～適切な暖房機器の使い方、お掃除で火災 予防～」 講師 神戸市消防局予防部予防課職員	10分	50本
14	聴覚障害者向け消防ビデオシリーズ5 「住宅用火災警報器と補助警報装置について2012 ～聴覚障害者にあった火災警報器の選び方、補助警報装置・移報端子 について～」 講師 神戸市消防局予防部予防課職員	10分	50本

2. CS障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供 (提供計4本)

提供①	4月26日放送 東日本大震災被災地へ 神戸からの応援メッセージ	5分
提供②	6月21日放送 「特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷開所5周年のつどい」 書籍「地域で生きる暮らしをつくる～淡路ふくろうの郷物語」 販売促進PR	10分
提供③	8月16日放送 「つつうらうら ～想いを伝えたい 神戸から被災地へ 籠谷忠久氏～」	10分
提供④	3月20日放送 「焼き菓子店 おのころ屋オープン」	4分

3. 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

手話または字幕を挿入した映像を制作。従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。
(全 36 本)

配信①	兵庫からの手話語り (神戸地域 3 本、阪神地域 4 本、東播磨地域 1 本、西播地域 1 本、北播地域 2 本、淡路地域 2 本、丹有地域 2 本、但馬地域 1 本)	16 本
配信②	月曜男 兵庫へのメッセージ (撮影協力：静岡県聴覚障害者センター)	2 本
配信③	東日本大震災被災地へのメッセージ (聴覚障害者団体長他全 11 名)	11 本
配信④	東日本大震災に関する情報 ～募金の呼びかけ、放射線関連用語解説、心のケア、詐欺への注意 災害時の避難所における支援方法について～ (放射線用語→制作協力：関西電力株式会社神戸支店)	5 本
配信⑤	住宅用火災警報器設置について ～聴覚障害者に合った火災警報器の選び方、補助警報装置について～ (制作協力：神戸市消防局予防部予防課)	1 本

(4) 制作映像の活用促進

1. DVD「広げよう 楽しい会話 シリーズ2 ～良くない～」活用 読取学習会
淡路聴覚障害者センター等の協力を得て、県下 4 会場にて DVD を活用した読取学習会を行った。参加者合計 57 名。

- ・神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター
開催日：6 月 25 日 (土) 13：30～16：30 参加者 21 名
- ・淡路会場 洲本健康福祉会館
開催日：7 月 16 日 (土) 13：30～16：30 参加者 17 名
- ・姫路会場 姫路市自治福祉会館
開催日：9 月 17 日 (土) 13：30～16：30 参加者 8 名
- ・西宮会場 西宮市市民交流センター
開催日：10 月 29 日 (土) 13：30～16：30 参加者 11 名

2. 動画配信内容の書面化

東日本大震災被災地へのメッセージとして配信した「災害における聴覚障害者への支援について (留意点)」について、動画配信後、様々な機関よりお問い合わせを頂き、配信内容の書面化が要望として挙げられた。動画配信した内容に加え聴覚障害者団体

発行の支援マニュアルなどを参考に、「災害時聴覚障害者支援ハンドブック」を発行。書面はPDF化し、動画と同時にネット上にて配信を行った。

3. マスコミ取材対応

マスコミによる映像活用促進を行った。掲載及び放送日程は以下の通り。

(新聞掲載)

- ・神戸新聞 1月6日(土)朝刊

(テレビ放送)

- ・放送日程:5月6日(金)18:10~19:00

番組名:「NHKニュース神戸発」内「神戸からのメッセージ 手話で伝えるメッセージ」

- ・放送日程:8月31日(水)18:10~19:00

番組名:「NHKニュース神戸発」内「聴覚障害者災害支援ハンドブック」

- ・NHKホームページ「リエゾン被災人」による情報配信

(8) 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

1. 「聞こえ」を学ぶセミナー(9月23日(金・祝)) 参加者:139名

会場:兵庫県立姫路労働会館

講演:「大学における情報支援について」関西学院大学 松岡克尚教授

「NTの立場から」関西学院大学院生

「NT利用の立場から」関西学院大学2回生

分科会(午後)

①場でのコミュニケーションについて ②家庭でのコミュニケーション

③聞こえを補う福祉機器について ④教育現場における情報保障について

難聴事業として初めて教育分野に関わる取り組みを行ったが、課題山積である。

2. 「聴覚障害者文化祭」の開催

日時:10月8日(土)10:00~15:00

場所:兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール

参加者:延べ500人

内容:作品展示、バザー、ステージ発表など

3. 篠山市における難聴者等の集い

日時:11月6日(日)13:00~16:00

場所:篠山市立丹南健康福祉センター

参加者：32名

内容：「聴覚障害者の福祉施策について」

「補聴器を上手に使いこなす方法」「聞こえを補う機器」

「難聴者の体験発表」等

4. センター企画

①「聴覚障害」の理解セミナー

聞こえの相談員、こころの相談員が講師を務め、手話通訳者2名を配置
福祉関係者として、地域の障害者へ支援されている方を対象に実施

講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。遠方からも参加あり。

10/18 (火) 13:30~16:00 情報センター会議室 受講者 7名

11/18 (金) 13:30~16:00 情報センター会議室 受講者 6名

②「編み物教室<かぎ針編>」モチーフをつないで自分だけのマフラーを作ろう

手話のできる健聴者講師とノートテイクスタッフ1名で対応。

10/21、28 (金) 計2回 (11/4 (金) 補講) 受講者 4名

③「フラワーアレンジメント」

健聴者講師に情報保障として手話通訳者・要約筆記者が付き添う

12/17 (土) 情報センター研修室 受講者 6名 (キャンセル1名)

【難聴企画】

1. 手芸企画

講師は、中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

5/24 ちくちく手縫い教室 参加者 2名

12/6、9 手作り教室 (手芸) 中止

1/21、28 手作り教室 (粘土) 参加者 9名

2/8 手作り教室 (フェルト) 参加者 6名

3/3、10 手作り教室 (粘土) 参加者 8名

2. 手話歌を楽しもう

講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。

6/15 (水) 頭の体操、「夏の思い出」 参加者 11名

8/17 (水) コラージュ、「海」 参加者 12名

10/19 (水) 折り紙、「もみじ」 参加者 12名

12/21 (水) ミニツリー製作「真っ赤なお鼻のトナカイ」 参加者 14名

(9) 要約筆記者派遣事業

実施月 事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	11	32	11	33	9	25	15	50	7	19	8	22	61	181
	2	4	2	7	5	8	6	9	1	4	1	2	17	34
実施月 事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	10	34	10	35	9	29	5	14	12	37	6	20	113	350
	3	7	3	8	1	4	1	1	5	14	1	3	31	71

上段：県要約筆記奉仕員派遣事業 下段：ひょうご通訳センター事業

(10) 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

実施月 事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
盲ろう通訳 ・介助	140	176	118	146	140	177	138	172	135	170	135	182	806	1023
	3	7	3	8	1	4	1	1	5	14	1	3	31	71
実施月 事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
盲ろう通訳 ・介助	135	179	135	175	137	162	115	152	129	157	132	158	1589	2006
	3	7	3	8	1	4	1	1	5	14	1	3	31	71

(11) 中途失聴難聴者コミュニケーション訓練事業

従来から協力戴いている兵庫県難聴者福祉事業協会に加え、たじま聴覚障害者センター、淡路聴覚障害者センターと共に運営。県内を県民局単位に区分し、市の独自開催も調べたうえで最低1箇所は何かしらの事業が開講されるように取り計らった。

地域別	開催地	内容	日時	場所	参加者数	講師名
神戸	神戸市	読話	5/21、28、6/4 (土)	情報センター	11名 (延べ31名)	ST 岡 恵子氏
		手話	6/11、18、25(土)	情報センター	11名 (延べ31名)	加藤 めぐみ氏
阪神	伊丹	読話	9/10、10/29(土)	アイ愛センター	10名 (延べ19名)	ST 岡 恵子氏
		手話	9/4、11(土)	アイ愛センター	13名 (延べ24名)	北村 明子氏
東播磨	明石	読話	9/17、10/22、 11/17(木・土)	明石市立総合 福祉センター	5名 (延べ12名)	ST 上田 月美氏

北播磨	三木	読話	9/1～11/10 (火・木) 計5回	三木市立市民 活動センター	9名 (延べ33名)	ST 上田 月美氏
中播磨	姫路	読話	3/7、14、21(水)	姫路市自治 福祉会館	18名 (延べ49名)	ST 岡 恵子氏
西播磨	宍粟市	読話	3/6(火)	宍粟 防災センター	29名	ST 岡 恵子氏
但馬	豊岡市	読話	7/24(日)	アイティ市民 プラザ	11名	ST 白杉 拓也氏
淡路	南あ わじ	読話	1/15(日) 午前	南淡公民館	13名	ST 井上 真一氏
	洲本	読話	1/15(日) 午後	洲本市 総合福祉会館	10名	ST 岡 恵子氏
	淡路市	読話	2/19(日)	しづのおだまき 館	19名	ST 岡 恵子氏

(12) ろうあ者社会生活教室開催事業

日 程	時 間	内 容	会 場	参加人数
平成23年 6月26日 (日)	14時00分～ 16時30分	第15回ろう教育学習会 講演：「ことば・コミュニケーション～聞 こえない子ども、聞こえる家族とのカウ ンセリングから見えてきたこと～」 講師：兵庫県立聴覚障害者情報センター 相談員 甲斐 更紗氏	神戸市立総合 福祉センター	92人
9月19日 (月・祝)	10時30分～ 12時	敬老講座 講演「神戸ローアハウスの思い出」 講師：村井 義忠氏	兵庫県立聴覚 障害者情報セ ンター	85人
11月12日 (土)	14時～16時	手話フォーラム 講演「これまでの手話、これからの手話」 講師：日本手話研究所 高塚 稔氏	加古川市総合 福祉会館	70人
12月4日 (日)	10時～13時	女性セミナー 料理教室「イタリア料理を楽しく美味し くクッキング！」 講師：伊藤 美香子氏	兵庫勤労市民 センター	26人
平成24年 2月18日 (土)	10時～12時	生活に関する講座 講演「聴覚障害者の日常生活用具につい て」 講師：(有)千里福祉情報センター所長 水野 慎吾氏	神戸市立総合 福祉センター	22人

3月10日 (土)	13時30分～ 15時30分	労働セミナー 講演「聴覚障害者が働くことについて」 講師：日本聴覚障害ソーシャルワーカー 協会会長 稲 淳子氏	まちづくり会 館2階ホール	23人
3月28日 (水)	19時～21時	青年講座 講演「障害者総合福祉法」 講師：兵庫障害者連絡協議会事務局長 井上 義治氏	神戸市立総合 福祉センター	21人

(13) 盲ろう者生活訓練事業

盲ろう者が日常生活を送る上で必要なコミュニケーション手段（触手話・指点字・点字・手書き）などを身につけるためのコミュニケーションリハビリテーションの実施や必要な訓練を行った。

1. コミュニケーション訓練

日程：毎週水曜日13時～15時 全47日

場所：神戸市立総合福祉センター、あすてっぷ KOBE

参加：盲ろう者 延べ419名 支援者 延べ706名

内容：点字(触読・ブリスト)手話・触手話・指文字・指点字などの習得訓練
盲ろう者向けパソコン操作の訓練

(14) ひょうご通訳センター事業（手話通訳・要約筆記）

【ひょうご通訳センター事業（手話通訳）】

1. 登録状況(手話通訳) 2011.3.31現在

	A登録	B登録	C登録	合計
合計	42	92	122	256

2. 研修会開催実績

研修会名	期 日	場 所	受講者数	研修内容
専門分野研修	7月9日	情報センター	18人	「事例検討～私ならこうする!？」 グループ討議 進行担当： コーディネーター 兵聴協認定手話通訳者
	12月23日	情報センター	78人	「医療現場から見える手話通訳者像」 講師：小山 秀樹氏 一般社団法人全国手話通訳問題 研究会理事
ランク別技術研修	9月24日	情報センター	25人	「読み取り表現技術」 講師：川添 雅史氏 社団法人兵庫県聴覚障害者協会 認定手話通訳者・手話通訳士
	2011年 3月3日	情報センター	21人	「聞き取り表現技術」 講師：池上 睦氏 兵庫県障害者支援課手話通訳者 兵庫手話通訳問題研究会 運営委員長

3. 兵庫県手話通訳者認定試験事業

手話通訳者養成課程修了者に対する全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施した。

実施日時：2011年12月3日（土）

合否発表：2012年3月24日（土）

会 場	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	協力要員数
神戸市総合福祉センター	112人	7人	105人	28人	18人

4. 専任手話通訳者会議の開催

県下各市町、社会福祉協議会、職業安定所で手話通訳者として業務をしている者を対象に専任手話通訳者会議を開催した。

第1回 設置手話通訳者会議

日時：5月18日（火）13：30～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：「兵庫県立聴覚障害者情報センター事業について」

情報センターから情報提供

- ・火災警報器の設置について状況と問題点
- ・ビデオライブラリー貸し出し事業の貸し出し条件の変更について

参加者：25名

第2回 設置手話通訳者会議

日時：7月19日（火）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：『雇用された手話通訳者の労働と健康についての実態調査』報告書から考える手話通訳者制度

「専門的な手話通訳者の雇用状況に関する調査研究」事業

本委員会委員 近藤 幸一氏

・その他 情報交換

参加者：16名

5. コミュニケーション支援事業担当者会議の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者として設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次の通り開催した。

日時：10月5日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：①あいさつ

②東日本大震災支援派遣手話通訳報告（宮城県名取市）

③ひょうご通訳センター（手話・要約）事業報告

④コミュニケーション支援事業（派遣事業）実態調査の報告

⑤手話通訳者派遣事業実施モデル要綱について

⑥盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業について

⑦地域の実情報告、意見交換

参加者：28市町・団体より46名

6. けいわん検診の実施

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

・けいわん検診実施状況

①西宮会場 西宮市総合福祉センター

9月 8日（木） 9:30～12:00 受診者 20名

②神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター

9月 20日（火） 9:30～16:00 受診者 35名

9月 27日（火） 9:30～16:00 受診者 44名

③高砂会場 高砂市福祉保健センター

10月13日(木) 11:00~16:00 受診者 31人

検診結果は次の通り

判定結果	計
A: 健常期	34人
B1: 疲労期	73人
B2: 初期	21人
B3: 顕性期	1人
C: 重症・遷延期	1人
計	130人

・受診結果報告と学習会の開催

受診結果については各市町、事業所の所属長、個人に通知し、同時に学習会への参加を呼びかけた。

日時: 12月23日(木・祝) 10:00~12:00

場所: 兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

テーマ: 「2011年度の受診結果の分析と頸肩腕障害と予防方法について」

講師: 吉倉 正氏(西淀病院社会医学研究所事務長)

参加者: 25名(内検診受診者12名)

【ひょうご通訳センター事業(要約筆記)】

1. 登録状況 133名

2. 研修会開催実績

期日	場所	受講者数	研修内容
8月3日	三木市立市民活動センター	25人	「派遣事業について(オリエンテーション)」 「筆記実習(OHC)」 進行: 登録要約筆記者
8月7日	情報センター	29人	「派遣事業について(オリエンテーション)」 「筆記実習(OHC)」 進行: 登録要約筆記者
11月3日	兵庫県福祉センター	10人	「派遣事業について(オリエンテーション)」 「パソコン要約筆記の実習」 講師: 安積美和子
11月7日	情報センター	36人	全難聴要約筆記事業研修会等の報告会 地域の養成事業についてのディスカッション 報告: (特) 兵庫県難聴者福祉協会、登録要約筆記者、センター職員

2月15日	情報センター	53人	要約筆記者養成カリキュラムについての伝達研修 報告：全国要約筆記指導者養成研修受講者
3月6日	情報センター	31人	「要約」 講師：長野秀樹氏（全通研長崎支部）

【ひょうご通訳センター事業（手話・要約筆記合同）】

1. コーディネーター研修会の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に研修会を開催した。

日 時：11月15日（火）13：30～16：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内 容：手話通訳者・要約筆記者の派遣コーディネートにおける危機管理

講 師：大谷大学社会福祉学准教授 志藤 修史 氏

参加者：21市町・団体より35名

（15）聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「お知らせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されています。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しています。

「ひょうご防災ネット」メール登録件数報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録件数	お知らせ 情報	635	642	647	664	673	717	727	727	728	720	723	723
	緊急情報	777	786	805	824	833	879	896	898	898	893	896	905

（16）情報機器の利用・貸出し事業

部屋の利用状況報告

実施月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	人数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室兼研修 室 (夜間)	24	326	13	281	20	288	25	638	13	288	20	660
	2	33	3	25	1	12	3	55	1	12	1	10
交流室 (夜間)	12	166	16	276	11	162	10	148	12	181	9	134
	2	9	2	13	2	13	2	12	3	19	2	12
その他来館者 (夜間)	22	278	24	278	31	332	29	381	24	274	26	432
	2	18	0	0	0	0	2	25	0	0	0	0

実施月 部屋名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室兼研修室 (夜間)	23	1844	19	621	20	474	13	241	27	614	19	363	236	6638
交流室 (夜間)	4	48	3	15	1	10	0	0	1	10	1	18	21	248
その他来館者 (夜間)	19	1564	20	569	19	337	17	239	19	391	15	222	179	4389
	3	15	2	12	2	12	2	12	2	7	1	10	25	146
	29	1679	21	524	27	422	16	224	23	354	28	434	300	5612
	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	63

※その他来館者：情報サロン、IT室等の利用者を含む

(17) 聞こえの相談事業

言語聴覚士による聴力測定、補聴器相談ほか、中途失聴難聴者の相談窓口として対応必要に応じて耳鼻咽喉科医師の協力を得ました。予約制。

1. 相談事業について

きこえの相談・・・言語聴覚士 岡

耳鼻科医師 岡野（月2回程度、水曜午前のみ対応）

2. 相談件数

【きこえの相談】 ※コミ=コミュニケーション、()内は医師相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
コミ相談	5	14	8	16	17 (2)	5	10	13	8	9	13	9	127
機器相談	5	5	10	6	11	3	11	8	3	6	3	5	76
合計	10	19	18	22	28	8	21	21	11	15	16	14	203

〔相談内容〕

- きこえ・補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、補聴器装用試聴についてなど）
- 福祉機器の相談（火災警報器関連機器、会議用拡聴器、発達障害に伴う聴覚認知への支援など）
- コミュニケーション（職場内コミュニケーションなど）
- 生活相談（就業、福祉制度、介護支援など）
- こどもの難聴について（難聴発覚後の両親ケア、進路相談、学習支援など）
- 関係機関（役所、就労支援施設など）

☆デフピープル助成金事業 難聴者のための手話教室（6月末～12月初）

☆中途失聴難聴者コミュニケーション事業（読話・手話講座：県内9地域）

☆「聞こえ」を学ぶセミナー（姫路市：9/23）

☆難聴者教室（県内5か所）

☆「聴覚障害」の理解セミナー（情報センター：2回）

☆福祉機器の貸し出し展示協力

10/16 アイフェスタ 2010 in 神戸（JRPS 兵庫支部主催）、3/26 三木耳の日の集い

(18) こころの相談事業

臨床心理士（聴覚障害者）による心理カウンセリングを主とした相談支援の実施

月2～3回（予約制）

こころの相談・・・臨床心理士 甲斐（月2～3回 不定期10～17時 土曜日）

淡路出向 年10回

【こころの相談】 ※来所・電話・メール・FAXによる相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
センター	15	15	21	28	15	19	24	55	37	23	23	11	283

〔相談内容〕

○精神的疾患・疑い（依存症、自己否定・自己崩壊 など）、医療不信

○人間・コミ関係（DV、離婚問題、兄弟・姑舅関係、住宅トラブル、職場下 など）

○コンサルテーション（発達・心理検査、発達支援、など）

☆日本語企画（年間3回：情報センター）

☆こころ企画「自分のこころについて語ってみませんか？」（年間1回：情報センター）

☆「聴覚障害」の理解セミナー（年間2回：情報センター）

(19) 盲ろう者相談事業

盲ろう者支援に長く携わる相談員、精神保健福祉士による相談支援の実施

月1回：情報センターにて実施、その他、依頼に応じて訪問相談を行う

盲ろう者相談・・・盲ろう者担当 平井・山田

（情報センター在勤：月1回13～16時）別途、訪問相談あり

【盲ろう者相談】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
訪問	6	1	2	1	3	2	2	10	2	9	5	1	29
合計	7	2	3	2	4	3	3	11	3	10	6	2	35

〔相談内容〕

○家族関係のトラブルについて

○生活訓練、コミュニケーション訓練について

○施設内での対応について

(20) 難聴者教室事業

中途失聴者・難聴者等を対象に、社会参加促進を目的とした生活・教養等の学習会を開催しました。

- ・香住町「聞こえと補聴器の勉強会」（10月22日（土））
会場：香住区中央公民館 1階 視聴覚室 参加者 3名
聞こえの話と補聴器の話（認定補聴器技能者から）、個別相談
- ・川西市「聞こえ」と「補聴器」について（平成24年2月5日（日））
会場：パレット川西（川西市市民活動センター） 参加者 17名
言語聴覚士による聞こえ、補聴器、福祉機器、福祉制度の講義
- ・養父市「聞こえと補聴器の勉強会」（平成24年2月26日（日））
会場：八鹿文化会館 23号室 参加者 16名
情報保障（たじまセンター）、福祉制度（役所担当者）、要約筆記（養父要約筆記）、補聴器（店）
- ・芦屋市「難聴者交流会」（平成24年2月26日（日））
会場：木口記念会館 3階 大会議室 参加者
難聴者等の集いで参加された方を中心に個々への情報提供、相談、交流の場
- ・聞こえと補聴器の勉強会（3月11日（日））
会場：アイティ7階 豊岡市民プラザ 練習室A 参加者：9名
難聴者の体験発表（難聴者）、聞こえの話（言語聴覚士）、補聴器の話（店）

(21) 盲ろう者実態調査事業

県内の盲ろう者の実態について21年度から23年度の3年間に渡り調査を実施し、報告書にまとめました。

目 的：県内の盲ろう者の実態（年齢、障害の状態・程度、日常生活の状況など）を把握し、今後の盲ろう者に対する福祉事業を展開するうえでの基礎データとして活用する。

期 間：平成21年度～平成23年度

対象者：639人 回収 259人 回収率40.5%

(22) 聴覚障害者災害対応訓練事業

1. 兵庫県合同防災訓練の協力

兵庫県が毎年実施している合同防災訓練に参画し、聴覚障害者が訓練に参

加しやすいように提言したり、県障害者支援課や地元市町と連携しながら地域の聴覚障害者に呼びかけ住民と共に訓練参加してもらい、防災意識の向上及び聞こえないことに対し住民の理解につなげました。

県合同防災訓練第1回全体会議

日時 平成23年7月8日（金）13:30～16:00

場所 あさご・ささゆりホール（朝来市）

内容 合同防災訓練計画の説明及び検討

県合同防災訓練第2回全体会議

日時 平成23年8月19日（金）13:30～16:00

場所 あさご・ささゆりホール（朝来市）

内容 合同防災訓練計画の準備

平成23年度兵庫県合同防災訓練

日時 平成24年9月4日（日）→台風接近のため延期

県合同防災訓練第3回全体会議及び

合同防災訓練（新井小学校）に係る関係機関調整会議

日時 平成24年2月15日（水）13:30～16:00

場所 兵庫県災害対策センター

内容 合同防災訓練実施概要の確認及び調整

平成23年度兵庫県合同防災訓練

日時 平成24年2月26日（日）8:30～13:00

場所 丹波市立新井小学校他

人数 地元の聴覚障害者、地域住民

内容 避難訓練、防災学習、展示

主催 兵庫県、丹波市

2. 聴覚障害者災害支援ハンドブックの作成

阪神・淡路大震災の経験をもとに災害時、聴覚障害者がどのようなことに困るのか、どのような支援が必要なのかをまとめたハンドブックを作成し、関係機関に配布しました。

発行部数 2000部

配布先 県下市町、兵庫県下の小学校、神戸市内の中学校、聴覚障害関係団体等

（23）助成金事業

1. 視聴覚障害者情報提供施設子どもライブラリー整備事業

主旨：字幕を挿入する専門人材養成研修の実施

日程：2月18日（土）、3月3日（土）、4日（日）

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器活用室及びスタジオ、編集室

受講者：8名（聴覚障害者5名、健聴者3名）

2. コミュニケーション支援人材養成事業

【盲ろう相談員養成研修会】

主旨：盲ろう者からの生活全般に係る相談を受けられるための人材養成

日時：7月2日（土）～7月30日（土）全5日間（22時間）

場所：情報センター

受講者：14名

（情報センター相談員1名、盲ろう者2名、教員1名、通訳・介助員10名）

内容：盲ろう者概論、盲ろう者相談事業、相談援助技術、事例検討など

【パソコン要約筆記者キャリアアップ研修】

主旨：手書きによる要約筆記奉仕員に対し、パソコン要約筆記技術の研修

日時：10月26日（水）～12月21日（水）8回

場所：明石市総合福祉センター

受講者：10名

内容：基礎課程

日時：1月14日（土）～3月10日（土）6回

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受講者：28名

内容：応用課程

【手話通訳者講師養成研修】

主旨：手話通訳養成講座の講師を担うための人材養成

日時：10月11日（火）～3月13日（火）30回

場所：神戸市立総合福祉センター

受講者：基本18名・応用18名・実践19名

内容：基礎課程・応用課程・実践課程

【収益事業等】

《収一 1 出版物等普及事業》

(1) 出版事業

2011年度 書籍売り上げベスト50 (協会への預け売り・売掛も含む)

2012年3月31日現在

順位	品名	数量	売上額 (円)
1	みんなでつくる 手話言語法	1,909	954,500
2	新・手話教室 入門	1,110	1,286,400
3	淡路ふくろうの郷5周年記念誌～負けへんで4～(県内)	888	1,332,000
4	手話教室 基礎(改訂版)	449	660,030
5	一人ひとりが輝く	268	422,100
6	淡路ふくろうの郷5周年記念誌～負けへんで4～	241	475,500
7	わたしたちの手話学習辞典	237	647,010
8	MIMI 132	210	157,500
9	MIMI 133	206	154,500
10	MIMI 134	194	145,500
11	新しい手話2012	186	148,800
12	新しい手話2011	145	116,000
13	たっちゃんと学ぼう	95	19,000
14	養成講座 応用課程(改訂版)	88	123,200
15	養成講座 基本課程(改訂版)	83	107,900
16	阪神・淡路大震災 DVD	78	234,000
17	養成講座 実践課程(改訂版)	60	84,000
18	実用手話単語集(入門対応)	54	74,100
19	誇りを持って未来へ	51	25,500
20	MIMI 131	43	32,250
21	新・手話教室 入門 指導書	36	82,500
22	365日のワークシート	30	75,000
23	負けへんで! 復興の灯を求めて	28	42,000
24	MIMI 97	25	18,750
25	兵庫の手話セット	23	46,000
26	新日本語一手話辞典	22	508,200
27	第5回手話検定試験解答集	22	73,920
28	DVDで学ぶ手話検定5級	18	52,920
29	障害者権利条約で社会を変えたい	18	9,000

30	手話教室 基礎 指導書	17	19,635
31	実践課程 指導書	16	15,120
32	障害者権利条約 みんな違ってみんな一緒	16	8,000
33	DVD『手話教室 基礎』	15	78,750
34	負けへんで! Vol.2 あれから10年 そして未来へ	15	22,500
35	北海道カレンダー (大)	15	7,500
36	兵庫の手話改訂版	14	21,000
37	DVD『手話通訳者養成講座 基本課程』	13	68,250
38	DVDで学ぶ手話の本 準1級・1級	13	49,140
39	基本課程 指導書	13	32,500
40	DVDで学ぶ手話の本 2級 (改訂版)	12	42,840
41	DVDで学ぶ手話検定4級	12	37,800
42	応用課程指導書	12	30,000
43	小松博を想う=ろう者と手話を愛した男=	12	18,000
44	わたしたちの手話スポーツ用語	12	15,900
45	検定試験単語集 5級 DVD	11	22,000
46	兵庫の手話DVD	11	16,500
47	me (3)	11	11,000
48	me (6)	11	11,000
49	新しい手話2010	11	8,800
50	北海道カレンダー (小)	11	4,400

(2) 事業部

1. 講演会

日 時：2011年11月30日 (水) PM7:00～9:00

時 間：PM7:00～9:00

会 場：神戸市立総合福祉センター

タイトル:イギリス・プレストンでの生活・仕事を通して思うこと

講 師：相良 啓子 氏

参加人数：55名

2. 兵聴協オリジナル非常持ち出し袋防災袋

販売数：38個

3. ゆずり葉上映会

実施数：2回

- ・ 2011年9月28日（水）兵庫県立神戸工業高校
- ・ 2012年2月15日（水）垂水教会

4. 要約筆記用OHPロール・補聴器電池・筆談器販売事業

兵庫県立聴覚障害者情報センター内で聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害の理解を深めるための講演にセンター職員の講師を派遣した。

ロール：805本

補聴器電池：31本

筆談器：19本

講師件数：10件

5. 自動販売機事業

設置数：2台

- ・ 神戸ろうあハウス
- ・ たじま聴覚障害者センター

《収-2 ひょうご聴覚障害者介護支援センター運営事業》

介護保険法

- ・居宅介護支援事業（ケアマネージャーによるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパーの派遣）

障害者自立支援法

- ・居宅介護・重度訪問介護事業

(1) 運営委員会開催

1. 開催日（月1回 合計12回）

4/21 5/26 6/23 7/28 8/18 9/22 10/22
11/24 12/15 1/24 2/28 3/19

2. 運営委員（8名）

守谷嘉之・嘉田眞典・古隆喜・嶋本恭規・中島正二・久保田真由美・東光子・西村リエ

3. 内容

- ・緊急時対応マニュアルの作成検討
- ・平成24年の法改正後の対応の検討
- ・人材確保・利用者掘り起し方法の検討
- ・広域での派遣での課題と解決策の検討など

(2) 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣事業

1. 平成23年度利用者数・ヘルパー派遣時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居宅介護支援事業（人）	15	14	15	15	15	15	16	15	15	15	14	17
ヘルパー派遣利用者（人）	14	13	14	14	15	16	15	15	15	14	14	15
ヘルパー活動人数（人）	21	23	22	24	24	25	25	26	28	22	25	21
月間派遣時間（時間）	392.5	396.5	393	424	431.5	435.5	447.5	430.5	410.5	389	406	467
延べ派遣日数（日）	166	175	185	190	190	195	200	202	192	163	187	204

2. 年齢別派遣数（平成24年3月末）

《年齢別派遣件数》

介護度	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
要支援								0人
要介護1				女性①	男性①			2人
要介護2	男性①			女性①	男性① 女性①			4人
要介護3			女性①			女性②	男性①	4人
要介護4			男性① 女性①		女性②	女性①	男性① 女性①	7人
要介護5								0人
障害者	男性① 女性②							3人
合計	4人	0人	3人	2人	5人	3人	3人	男性⑦ 女性⑬

3. 前年度比較

(1) 延べ派遣日数・派遣時間

	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援
延べ派遣日数	1,774日	0日	2,203日	80日	2,116日	133日
派遣時間	3820.5時間	0時間	5057.0時間	160時間	5046.5時間	287.5時間

(2) 介護度

	平成22年度	平成23年度
要支援1	0	0
要支援2	0	0
要介護1	2	2
要介護2	9	4
要介護3	5	4
要介護4	3	7
要介護5	2	0
障害者	2	3
合計	23人	20人

(3) 年齢

	平成22年度	平成23年度
65歳未満	3	4
70歳未満	2	0
80歳未満	4	5
90歳未満	11	8
90歳以上	3	3
合計	23人	20人

事業スタートして8年になるが、利用者人数は横ばい状態が続いている。約80%が高齢で独居またはろう夫婦世帯（子供がいない）である。また年齢は80歳代・90歳代がほとんどで事業スタート時と比べると高齢化してきている。

介護度が高く、支援・サービスが毎日不可欠な方も出てきている。訪問介護（ヘルパー派遣）だけではなく、ショートステイやデイサービスなど施設利用者も増えてきており、県下の聴覚障害者の施設利用だけでは足りない状態である。地域の施設・事業所との関係作りや高齢（重複）聴覚障害者ケースのコミュニケーション理解・啓発なども課題になってきている。

4. 平成23年度地域別利用者数

派遣地域（平成23年度3月現在）：豊岡市、神戸市

利用者は神戸に集中している。

ブロック	介護保険法	自立支援法
阪神	0	0
神戸	15人	3人
東播	1人	0
西播	0	0
北播	0	0
丹有	0	0
但馬	1人	0
合計	17人	3人

高齢者介護分野では地域包括ケアシステムが全国的に推進されており、ソフト面では保健・医療・介護・福祉が連携してサービスを提供する、ハード面ではそのような施設建設の推進が進められてきている。

狭い範囲での地域で進めようとする世間の動きの中、『ひょうご聴覚障害者介護支援センター』として県下の高齢（重複）聴覚障害者にできることは何か？自分の力で自分らしく生きるために、コミュニケーション支援を伴う精神的な部分を重点とした支援である。高齢（重複）聴覚障害者にとって安心して生活できる地域とは狭い生活圏であるとは限らない。手話で会話が出来、何気ない日常の自由な自己決定ができる場である。生活圏内の保健・医療・介護・福祉サービス事業所と連携をしながら、よりよい支援をしていく必要がある。

地域ろうあ協会と共に、手話でのコミュニケーションの必要性の理解を広げていくことが課題である。

(3) ヘルパーについて

1. 登録ヘルパー 人数：47名（ろうあ者28名 健聴者19名）

2. ヘルパー会議および研修

月1回（基本的には毎月6日 14時～ 兵聴協事務所）
活動しているヘルパーが情報共有・知識・視野の拡大・技術などの学習を行っている。

3. 登録ヘルパー研修会

①6月25日（土）

『ボディーメカニクス』 講師：ニチイ学館 竹平恵子氏

利用者・ヘルパーともに負担なくできる『てこの原理』を使った体位姿勢変換の介助方法を学んだ。また、共感的理解と基本的態度についても講義を受け、技術とヘルパー姿勢の学習を行った。

②8月20日（土）

『介護保険制度・困難事例への対応技術』

講師：日本ホームヘルパー協会 山本栄子氏

『自立支援』と『尊厳の保持』という介護保険制度の意義について講義を受ける。困難事例対応の援助技術やヘルパーとしてできること、チームで介護することの意義なども学ぶ。

③10月15日（土）

『認知症の理解について』 講師：兵庫県介護福祉士会 会長 石川立美子氏

認知症（脳の異常）と物忘れの違いを具体例や絵を用いて学んだ。認知症という目に見えない病気の特徴をヘルパーが理解する事で、利用者と寄り添いながら支援することを目指す。

④1月28日（土）

『高血圧を防ぐ食事について』 講師：兵庫県栄養士会 管理栄養士 上野 樹世氏

高血圧によっておこる病気、病気を防ぐための工夫や減塩のコツについて講義を受け、そのあと生姜あんや、ゆず、良質のだしによる減塩調理方法を取り入れた調理を行う。普段話をする機会のないヘルパー同士の交流の場にもなった。

⑤3月4日（日）（兵庫手話通訳問題研究会合同）

『高齢者の健康ライフ～介護する上で知っておきたい病気～』

講師：江原内科クリニック 江原 重幸先生

『パーキンソン病』『花粉症』『急性心不全』『メタボ』『糖尿病』『肺炎』『ノロウイルス』など多岐にわたる病気について学ぶ。医師が問診を行う上で、日々の生活にかかわり支援をするヘルパーの情報はとても役立つという話もあった。チームでの

介護している意義やヘルパーの“気づき”の大切さを学ぶ。

(4) 講演活動

- ・姫路ろうあ協会からの依頼

9月25日(日) 13時～15時 姫路市自治福祉会館

『高齢聴覚障害者の暮らし』 サービス提供責任者 久保田

- ・兵庫手話通訳問題研究会からの依頼

11月30日(水) 19時半～21時半 三木市市民活動センター

『ろう高齢者の生活と介護支援センターの事業について』

サービス提供責任者 久保田

(5) 成果と今後の課題と総括

1. 高齢かつ重度利用者への対応

毎日介護が必要な重度の方や利用者の高齢化に伴い、体に触れる身体介護の時間数が増えてきている。また1回の訪問時間や1人の利用者に要する月訪問時間も増えてきている。県下各地域に対応できるヘルパーの人材確保と質の向上が課題である。

また、地域各地の行政・施設・サービス事業所などと信頼関係を構築し、高齢(重複)聴覚障害者の実態やニーズにあった支援ができるよう社会資源の把握と開拓が必要である。近隣住民との関係作り・見守りネットワークづくりも課題。

2. 要求の掘り起しと派遣地域の拡大

ろうケアマネが要介護認定の申請代行や認定調査・ケアプランの作成をし、手話で会話ができるコミュニケーション能力の高いヘルパー派遣をし、利用者主体のサービスを行っていることの周知・普及が課題である。協会と共に、各地域の行政・あんしんすこやかセンター・地域障害者支援センターなどに専門性・目的・意義の理解普及・啓発活動が必要。

3. ヘルパーの仕事と報酬の確保

ヘルパー派遣地域が神戸に集中しているため、働く意欲があっても仕事がない登録ヘルパーもいる。逆に、派遣場所があっても近隣のヘルパーがいなくて、往復2時間以上かけてヘルパーに行く場合もある。その際のヘルパー交通費の支出も多額である。

平成24年度の介護保険法改定後には、生活援助における単位数の減算もあり、ヘルパーへの十分な報酬も課題。

4. 重複聴覚障害者の援助技術の向上

現在、精神障害を持っている聴覚障害者への援助に苦勞している。病気を正しく理解し、利用者に寄り添い介護できるような援助技術研修の実施も必要。

《他ー1 会員・関係団体相互扶助事業》

(概要)

(1) 青年部

1. 総括報告

昨年に役員改選して新しい体制が始まり1年目があっというまに過ぎました。初めて常任委員をする人も多く、試行錯誤しながらもなんとか無事に1年を終えることができました。年10回常任委員会を開催することができました。常任委員の出席率もよくないなど課題が残りました。この反省を次年度に生かしていきたいと思います。

総務部に関しては、常任委員会の招集・議事録作成、行事に関して公文書作成、各行事の案内呼びかけを行い、青年部の活動に微力ながらも関わっていくことができました。しかし、事業などを円滑に進めるためにさらに改善できる部分を見出し、2012年度の運営に反映し、部内改善を図っていききたいと思います。

編集部に関しては、毎月ろうあ兵庫に青年部のページを掲載し、青年部の取り組みなどを周知してきました。しかしながら、青年部ブログをほとんど更新できませんでした。

今期から調査部から名称を変えた組織部に関しては、企画のたびにアンケートを取り、今後どのような企画が求められているかを研究調査してきました。一般会員からのアンケート結果から、兵聴協青年部の三大大行事を始め、各行事の位置づけを明確にする必要性が高まってきました。研究調査の継続と、調査結果を関係者で共有していくことが重要だと考えています。

今年度から新しく設けた事業部については、全国・近畿のグッズ販売に協力しました。また、「第6回ふくろう・ふれ愛まつり」に県青年部として出店しました。前年度はたこ焼きとたこせんの販売でしたが、今年度は揚げたこ焼きとフライドポテトを作り、販売しました。お客さんには好評を得られました。

また、たつの市で開催された「第38回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい」は、新成人の参加が2名でしたが、県青年部常任委員、新成人での懇親会では、お互いに深く親睦を深めることができました。

今年度から公益社団法人へ生まれ変わりました。引き続き青年部のパワーで、若い青年やU-35の仲間たちとの繋がりを深め、青年部として発展していけるよう皆で共に頑張っていきましょう！

1. 3本柱の基本を作っていこう！

3大行事である、兵庫県ろうあ青年研究討論会・兵庫県ろうあヤングレクリエーション・青年講座を元に、兵庫県に住むろうあ青年と共に仲間づくり・学習づくり・要求づくりができました。また、県内のみでなく、近畿、全国の多くのろうあ青年たちと出会い、情報や意見を交換することができました。これからもより活動範囲を広め、

行事などを充実させられるように取りくんでいきます。

2. 各協会青年部との連絡体制の強化を図ろう！

2011年度は、参加呼びかけや企画運営などに関し、各ブロックの常任委員がパイプ役として積極的に動きました。しかし、それぞれ専門部で、連絡のやりとりや連携が不十分な部分がありました。2012年度は、県青年部全体として、この反省点を考慮しさらなる改善を図ります。

3. 三重大行事を大きく盛り上げていこう！

2011年度の3大行事、

8月に行われた「第32回兵庫県ろうあ青年研究討論会 in 宍粟」では県下各地からろう青年、健聴者が集まり、世界ろう者会議報告がありました。また、今年度は新しくワークショップという形で討論し、どんどん意見が出されていました。夜の交流会では新しい仲間ができたりと盛りあがりしました。

11月に行われた「第24回兵庫県ろうあヤングレクリエーション in 三田」では、燻製を作りながらゲームをしました。

3月に行われた青年講座では兵庫障害者連絡協議会事務局長の井上義治氏にお越しいただき、「障害者総合福祉法」についてわかりやすくお話いただきました。私たち青年部も社会にも目を向けていかなければならないと感じています。

4. 県、近畿、全国の行事に参加しよう！

前年度と比較して、参加人数は減少しています。2012年度はさらに企画内容の工夫や呼びかけ方法などを検討していきます。

5. ひょうご聴障ネットに協力していこう！

2011年度と同様に、ふくろう・ふれあい祭りに参加し、ネットの活動にも関わって行きました。現政権は、自立支援法を廃棄、新たな法案を作ろうとしています。その新法案に、聴覚障害者の理解、聴覚障害者の立場になった福祉事業や計画を取り入れるように、2012年も引き続き、ひょうご聴障ネット会員拡大、ひょうご聴障ネットが関わる企画に積極的に参加して知識を深めていきます。

6. 特別企画を設けて活動を拡大していこう！

2011年度は2回特別企画を開催することができました。1つめは「青年のすゝめパート2」で、岡山から東宏次氏にお越しいただき、岡山県聴覚障害者福祉協会青年部のことや、職場の岡山聴覚障害者情報センターについてお話いただきました。また、U-35と一緒にカルタ取りをして交流も深めることができました。2つめは、「ろう子どもふれあい企画」で三田市にてイチゴ狩りや、お皿・湯のみに絵付け体験をして交流しながら、ろう子どもと青年部のパイプを深めることができました。

7. 近畿ろうあ連盟青年部ヤングフェスティバル成功のために実行委員会を立ち上げよう！

2012年度に兵庫県で開催されるヤングフェスティバルの実行委員会を立ち上げることができました。9月の実地に向けて成功するよう取り組んでまいります。

8. 東日本大震災聴覚障害者救援中央本部に協力しよう！

カンパを行い、7,671円集まりました。他にも全国ろうあ連盟青年部が行った「がんばろう！JAPAN」や近畿ろうあ連盟青年部が作成した応援バッジの販売に協力しました。

2. 2011年度事業経過報告

日 程	事 業 名	開催地	参加人数
4月3日	2011年度近畿ろうあ連盟青年部代議委員会	尼 崎	7名
4月17日	(社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神 戸	27名
6月11日	第59回全国ろうあ者大会【青年のつどい】	佐 賀	7名
7月30日～31日	第30回全国ろうあ青年部活動者会議	石 川	4名
8月6日～7日	第32回兵庫県ろうあ青年研究討論会	宍 粟	54名
9月25日	青年のすゝめ パート2	神 戸	20名
10月2日	第61回近畿ろうあ者大会【青年のつどい】	大 阪	23名
10月8日～10日	第45回全国ろうあ青年研究討論会	山 梨	10名
10月23日	第6回ふくろう・ふれ愛まつり	淡 路	9名
10月29日	第27回近畿ろうあヤング・フェスティバル	滋 賀	7名
11月20日	第24回兵庫県ろうあヤング・レクリエーション	三 田	23名
12月3日	近畿青年部中間代員会		6名
12月3日～4日	第43回近畿ろうあ青年研究討論会	奈 良	16名
1月14日～15日	第37回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いの集い	龍 野	8名 (新成人2名)
3月28日	青年講座	神 戸	21名

2月18日～19日	第42回全国委員会	群馬	2名
3月31日	特別企画(ろう子供とのふれあい企画)	三田	31名

2. 編集部活動報告

三大行事の予告は、青年部ページやろうあ兵庫の最終ページ”行事予定表”に積極的に載せることができた。

今年度は、青年部ならではの問題(時事問題)を、7回載せることができた。

3. 組織部活動報告

<兵聴協青年部主催行事の過去5年間の参加者数>

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
兵青研	57名(神戸)	62名(淡路)	81名(伊丹)	59名(尼崎)	54名(宍粟)
ヤングレクリエーション	29名(豊岡)	41名(稲美)	66名(相生)	48名(三木)	23名(三田)
青年講座	11名(神戸)	33名(豊岡)	36名(西脇)	41名(西宮)	21名(神戸)
ろう子供ふれあい企画	50名(神戸)	18名(神戸)	24名(神戸)	11名(神戸)	31名(三田)

今年度は、兵青研のアンケートのレイアウト・項目の量が参加者の負担になるものだったと思われるせいか、回収率・回答率が高くなかったため、青年講座とろう子供ふれあい企画のアンケートは思い切って簡略化を試みたが、回答率は上がった。

これからもより良い反省材料を得るために、答えたい・答えやすいアンケートを工夫していきたいと思う。

また、今年度やヤングレクリエーションのアンケート作成ができなかったことを反省とし、スケジュールに合わせてアンケート作成をするよう心がける。

4. 事業部活動報告

事業部では、オリジナルグッズの検討、販売、上位団体からのグッズ販売協力などを中心に活動してきました。また、淡路ふくろうふれ愛まつりではあげたこ焼き、フライドポテトを調理販売しました。新たなオリジナルグッズとして、常任委員全員の協力を得て、トイレトペーパー、クリアファイルなどを検討しましたが、採算の面で見通しがたたなかったため、やむを得ず政策に至りませんでした。検討作業でいろいろと新たなアイデアが出てきたノウハウを今後のグッズ検討においても役立てていきたい。

(2) 女性部

1. 総括報告

第34回定期総会

4月10日、神戸市立勤労会館にて、第34回代議員定期総会を開催しました。一定数61名のうち出席者26名。委任23名でした。

女性部会員として責任もって総会に出席して下さるようお願いいたします。

総会は役員改選があったのですが、積極的な立候補者が少なく、推薦しても辞退があって四苦八苦しなながら信任投票で役員が決まりました。

青年層も子育てしている会員が増えています。今後は会員の皆さんとともに様々な問題について話し合いながらより一層の仲間づくりをして行きましょう。

社会見学

今年は7月17日に、バスで大阪のろう老人施設のあすくの里、と国際障害者センターのビッグアイとハーベストの丘に行きました。

あすくの里では、ろう施設長から説明と館内見学。ビッグアイはバイアフリーの設備が整った施設を見学しました。ハーベストの丘では、大自然の自然環境の中で、日頃の疲れを癒しました。参加者は大人46名、子供2名。

24年度も楽しい企画をしていますので積極的に参加して親睦交流できるようにしたいです。

第32回女性のつどい

今年は淡路9月4日淡路で開催しました。大型台風12号が兵庫を直撃となり開催を中止か決行かをギリギリまで判断しかねていたためたくさんの会員にご迷惑かけてしまいました。

交流会は中止でしたが、大会は決行しました。淡路の行政方々も来賓として参加していただき、講師の今村彩子さんに、ろう映像作家としての人生を大いに語っていただきました。参加者は213名、各地域で水害等の被害で参加できなかった方が27名。この災害経験をもとに、災害時の対応方法と、それに付随する問題に対する対応方法をつどいの申し合わせに盛り込んでいきます。

女性セミナー

12月4日兵庫勤労市民センターで、イタリア料理をテーマに、講師の指導でグループで腕をふるいました。

参加者は26名で男性3名もおられました。出来上がった料理にそれぞれのグループで感想等あり楽しい雰囲気でした。

女性部新年会

24年1月8日、三宮のアロアロ店で開催しました。参加者は48名。いっぱいの人

で身動きが大変だったと思いますが、皆さんご馳走と交流に盛り上がって楽しそうでした。初めて来られたかた、ひさしぶりに会う方、みなさんの元気いっぱいのパワーを見せていただきよかったです。来年度から「デフ女子会」とします。

コミュニテイカフェ夢

毎月第1月曜日に三宮のアロアロ店の場所をお借りして開催しました。季節に合った内容の調理を作ってスタッフで頑張ってきました。

24年度からは有志で行うこととなります。今まで3年間女性部として開催しましたが、もっと自由にたくさんの方に来ていただけるためにも女性部という組織から切り離していきます。これからも今まで以上にご来店をよろしくお願ひします。

課題

1、あなたの周りに一人ぼっちのろう女性はいませんか？一人でも多く仲間に入って女性会員を増やしていきましょう。

2、新しい総合福祉法は、廃止した自立支援法を改正しようとしています。女性としての生活と権利、労働の問題もまだまだです。仕方ない我慢という時代でないです。身近なこと。疑問に思っていることを話し合っ解決できるようともにがんばりましょう。

24年度から公益社団法人となり名称は変わります。役員任期が3年から2年になります。でも女性部の活動は変わらずこれから続けていきますので、皆さんも女性であることに誇りをもって暮らしよい社会となるよう取り組んでいきましょう。

2. 事業経過報告

年 月 日	内 容	参 加 数	会 場
H23年4月10日(日)	第34回代議員総会	26 (うち委任23) 名	神戸市勤労市民会館
7月17日(日)	社会見学 (あすくの里・ビッグアイ見学 ハーベストの丘)	41名	大阪
9月3日(土)	第32回兵庫県ろうあ女性のつどい前夜交流会	0名	淡路 (台風のため中止)
9月4日(日)	第32回兵庫県ろうあ女性のつどい	213名	淡路山手会館
12月4日(日)	女性セミナー「料理交流会」 /	26名	兵庫勤労市民センター
H24年1月8日(日)	代表者会議 新年会	23名 (14協会) 47名	兵庫勤労市民センター アロアロ店

平成23年度役員会・オルグ			
●役員会			
H23年4月16日(土)	第1回役員会	9名	クリスタルタワー
5月21日(土)	第2回役員会	8名	三宮・青少年センター
6月4日(土)	第3回役員会	10名	クリスタルタワー
7月24日(日)	第4回役員会	9名	兵聴協分室
8月27日(土)	第5回役員会	9名	神戸市立総合福祉センター
9月19日(月祝)	第6回役員会	10名	兵聴協分室
10月10日(月祝)	第7回役員会	7名	兵聴協分室
11月5日(土)	第8回役員会	7名	兵聴協分室
12月4日(日)	第9回役員会	7名	ガスト(兵庫店)
H24年1月8日(日)	第10回役員会	9名	アロアロ店
2月4日(土)	第11回役員会	8名	クリスタルタワー
3月2日(金)	総会準備	5名	クリスタルタワー
3月23日(金)	第12回役員会	10名	クリスタルタワー
●オルグ			
7月18日(月祝)	岩林、鈴木、中野	3名	淡路山手会館
H24年1月15日(日)	水田、鈴木、中野	3名	稲美町
近畿・全国ろうあ連盟女性部			
年 月 日	内 容	開 催 地	参加人数(名)
●近畿			
H23年4月23日(土)	定期総会	大阪府谷町福祉センター	全国/近畿/兵庫 21/5
6月5日(日)	第1回本部委員会	大阪市立北区民センター	6/3
6月26日(日)	第2回本部委員会	和歌山市ふれあいセンター	5/2
同上	座長・助言者・通訳者・記録者の打合せ	同上	21/5
7月9日(土)	大学習会	和歌山(加太淡嶋神社)	50/5
7月10日(日)	第41回近畿ろうあ女性フォーラム	和歌山市ふれあいセンター	149/8
8月20日(土)	第3回本部委員会/代議員会・反省会	大阪市立社会福祉センター	6/2
11月27日(日)	代議員会・報告会・役員改選	大阪府谷町福祉センター	21/5
H24年3月24日(土)	第4回本部委員会	大阪府谷町福祉センター	7/1
●全国			
H23年10月7日～10日	第41回全国ろうあ女性集会	山梨県甲府市	353/52/10
H24年1月27日(金)	第36回全国委員会	東京	4/0
1月28日～1月29日	第38回幹部研修会	東京	128/14/0

(3) 高齢部

1. 活動のまとめ

①2011年10月に芦屋の奥池で第7回兵庫県ろうあ高齢者GG大会が行われました。朝から雲行きが怪しく、プレー中は小雨になり始めたが、90名を越える参加者は自然の森に囲まれた場所で起伏に富んだコースのスリルを味わいながら楽しみ、交流を深めることが出来ました。

②敬老会では78名の参加があり、80歳以上の方は16名もいました。いつまでもすこやかに元気で過ごして頂けるようにと気持ちを込めてお祝いを贈呈し、楽しく一日を過ごしました。

気になったことは、狭い部屋で動きづらかったので、今度のはのびのびと動けるような

広い部屋を確保しておきたいと考えています。

③恒例の旅行会は、平清盛ブームにあやかって平氏にゆかりのある広島・宮島への旅を企画しました。参加者は27名で各地を観光してまわったり、美味しいものを食べて無事に帰りました。

④最後になりましたが、長いこと高齢部行事などに関わってくださった役員の一人名ある池山増廣氏が9月に逝去されました。お世話の好きな方で誰に対しても気配りを掛けていたお姿は、一生忘れられないものとなりました。ご冥福をお祈り申し上げると共に高齢部をさらによりよく活動を発展していくためには、皆様と一緒に頑張っていく事を決意致します。

2. 事業経過報告

<兵庫県>

平成23年4月	4日(月)	役員会	兵聴協事務所(8名)
	13日(水)	役員会	情報センター(4名)
	17日(日)	第21回高齢部代議員総会	神戸市勤労会館 (出席33名・委任14名)
	17日(日)	第1回役員会	神戸市勤労会館(10名)
6月	7日(火)	第2回役員会	兵聴協事務所(10名)
7月	8日(金)	社会見学	大阪造幣局(49名)
8月	1日(月)	第3回役員会	兵聴協事務所(7名)
	11日(木)	三役会議	西宮市立中央公民館(3名)
	20日(土)	第1回代表者会議	神戸総合福祉センター(12名)
	20日(土)	第1回こうれいしゃ講演会	神戸総合福祉センター (16名)
		「ろうあ高齢者への支援と『生きがい』について」	中岡 正人氏
9月	7日(水)	五役会議	兵聴協事務所(5名)
	19日(祝)	第25回兵庫県ろうあ敬老会&学習会	情報センター(78名)
		「神戸ロウアハウスの思い出」	村井 義忠氏
10月	24日(月)	第4回役員会	兵聴協事務所(7名)
	30日(日)	第7回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会(芦屋)	(93名)
12月	6日(火)	第5回役員会	兵聴協事務所(7名)
平成24年1月	31日(火)	第6回役員会	兵聴協事務所(6名)
	2月17日(金)～18日(土)	1泊2日の旅	【広島・宮島】(27名)
	27日(月)	第7回役員会	兵聴協事務所(6名)
	3月10日(土)	第8回役員会	神戸総合福祉センター(7名)

10日(土)第2回代表者会議 神戸総合福祉センター(16名)
4月 4日(水)事務局・会計部会議 兵聴協事務所(4名)
10日(火)第9回役員会 兵聴協事務所(5名)
15日(日)第22回高齢部代議員総会 神戸市勤労会館
(出席24名・委任21名・無効/無届10名)

<近畿>

平成23年 5月19日(水)近畿ろうあ高齢者委員会【大阪】 (3名)
7月 9日(土)第31回近畿ろうあ高齢者研修会事前会議(情報センター)
9月11日(土)～12日(日)第32回近畿ろうあ高齢者研修会&
第22回ゲートボール競技大会&第3回グランドゴルフ競技大会
【大阪】(20名)【台風12号のため中止】

<全国>

平成23年10月21日(金)～22日(日)第23回全国ろうあ高齢者大会&
第25回ゲートボール競技大会&第2回グラウンドゴルフ大会
【東京】(5名)《兵庫チーム優勝》
平成24年2月 4日(金)～5日(土)第3回全国高齢部代表研修会
【愛知・春日井】(0名)

(4) スポーツ部

1. 総括報告

①はじめに

2010年から、体育部→スポーツ部へ名称変更になり、一年目となります。
役員改選による慣れてない所があり、なんとか無事に終わることが出来ました。
ソフトボール大会の参加人数は前年より増えたり、スポーツふれあいは2年ぶり
開催することが出来ました。新役員と協力してもらって成果出来たと思います。

②第30回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会抽選会

7月10日(日)加古川で7チームの監督と主将が出席し、グランド下見をしてルー
ルの説明と組み合わせの抽選を行なった。

スムーズな大会進行ができるよう各チームの代表と意見交換をし新ルールを決め承
認を得ました。

③第30回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

7月31日(日)加古川グランドで開催しました。参加チームは去年より3チーム増
えて7チームになりましたが、真夏の為、試合短縮の方法でリーグ形式で決めた。勝
点と点数の結果で、小野チームが優勝となりました。新ルールは良かったとの声があ
りました。去年より増えたが、過去と比べて参加チームが減っていきませんが、これか
らたくさんさんのチームが参加しやすいように改善したいと思います。

優勝：小野 準優勝：姫路

④第14回サイレントスノーボー・スキーツアー

スポーツ部と明石魚住ライオンズクラブとの交流企画として、2012年2月10日から3日間、北海道のニセコで開催する運びとなりました。他地域のライオンズクラブからも参加もあり1年ぶりに再会し交流を深めました。地元からライオンズクラブと交流ができてよかったとの声がありました。スキー場は空いていてコースも滑りやすくてよかったです。

⑤スポーツふれあい2011

尼崎市で、ソフトバレー交流会企画として2年ぶりで開催となりました。新役員の協力で、無事に開催できました。参加者から来年もやりたいと声がありました。

⑥近畿ろうあ者体育大会、全国ろうあ者体育大会

5月14日から2日間、6年ぶり兵庫県の開催地で、第38回近畿ろうあ者体育大会開く事が出来ました。選手参加者は71名、去年度と比べて増えました。9月15日から3日間、愛知県で第45回全国ろうあ者体育大会が開催されました。選手参加者は去年度より多数ありました。兵庫男子バレーが惜しく準優勝となりました。

2. 事業経過報告

<兵庫県>

4月10日(日) 第22回体育部総会 (神戸) 12人

7月10日(日) 第30回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会監督主将会議
(加古川) 13人

7月31日(日) 第30回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会(加古川) 7チーム
約100人

11月27日(日) スポーツふれあい (尼崎) 16人
(2012年)

2月10日(金) ~ 12日(日)

第14回サイレント・スノーボー&スキー・キャンプ (北海道) 8人

<近畿>

3月27日(日) 第38回近畿ろうあ者体育大会監督主将会議 (兵庫) 12人

5月14日(土) ~ 15日(日)

第38回近畿ろうあ者体育大会 (兵庫) 71人

6月19日(日) 第11回全国障害者スポーツ大会

聴覚障害者バレーボール競技近畿地区予選大会 (大阪)
3チーム 約30人

<全国>

9月16日(金)～18日(日)

第44回全国ろうあ者体育大会 (愛知) 41人

10月22日(土)～24日(月)

第11回全国障害者スポーツ大会 (山口) 人

(5) 全国手話検定試験事業

全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当協会が準備を進め、試験実施に協力しました。

5級・4級試験の実施

日 程 平成23年10月15日(土)

会 場 神戸市立総合福祉センター(兵庫会場)

3級・2級試験の実施

日 程 平成23年10月16日(日)

会 場 兵庫県立聴覚障害者情報センター(兵庫会場)

(6) 第7回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時 平成23年10月8日(土) 午前10時～午後3時

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター

(2階情報センター、5階マリーホール)

主 催 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会、神戸産ライオンズクラブ、

ひょうご聴障ネット

内 容 ○ステージ

第1部 防災人形劇「稲むらの火」デフ・パペット・シアター・ひとみ

第2部・特別養護老人ホーム「淡路ふくろうの郷」入所者による寸劇

・特定非営利活動法人兵庫盲ろう者友の会有志による寸劇

・神戸女子大学手話部「翼」手話ミュージカル

○バザー出店、絵画、写真展示、防災グッズ展示

○囲碁将棋コーナー、パソコン教室、

参加人数 550名

(7) 三団体合同2DAY研修会

1. 三団体学習部活動報告

【担当委員】

(兵聴協) 志方・中野・木戸・岩林・足立 (県サ連) 槇本、竹中、藤田

(兵通研) 勝岡・仲井

【担当者会議】 19:00～21:00 兵聴協事務所分室

第1回 2011年 8月17日 (水)

第2回 2011年 9月14日 (水)

第3回 2011年 10月12日 (水)

第4回 2011年 10月31日 (水)

第5回 2011年 12月21日 (水)

第6回 2012年 2月8日 (水)

2. 第34回三団体2DAY研修会

1日目<全体学習会>

日 時：2011年11月5日 (土) 13:00～16:00 (受付12:30)

場 所：兵庫県立のじぎく会館

講 師：伊藤正氏 (全国手話通訳問題研究会 事務局長)

テーマ 『みんながくらしやすい地域をめざして パート2』

～聴覚障害者制度改革のこれまでと これからの期待すること～

◆みんなで考えよう、話し合ってみよう。私たちの暮らしにつながる法律◆

聴覚障害者制度改革について、「今、何が行われているのか、どうなっているのか」そして「現状について我々はどう考えればいいのか」について、以下のポイントに沿ってわかりやすくお話しいただきました。

- ・障害者福祉制度改革の現状を知る。
- ・日本の聴覚障害者の現状と課題を確認する。
- ・現状についての考え方を確認する。

2日目<分科会>

日 時：2011年11月6日 (日) 10:00～16:00 (受付9:30)

場 所：神戸市立総合福祉センター (湊川神社西門前)

【第一分科会】

『入門』～ろうあ運動の歴史と新しい手話を学ぼう！～

司会 仲井正、今泉友幸

参加人数

7人 (内聴

2人)

【第二分科会】

『手話講習会』

司会 岩本 吉正

参加者 7人 (内聴2人)

【第三分科会】

『手話通訳制度』～手話通訳制度を元気にしよう！～

司会

山本紋子、笹倉博巳 参加人数 10人 (内聴8人)

【第四分科会】

『聴覚障害者と医療』 ～聴覚障害者が安心できる医療とは～

司会 丸山よい 参加人数 14人（内聴3人）

【第五分科会】

『手話サークル』 ～ろう者が行きたくなる手話サークル！？

司会 栗山 美津代 参加人数 15人（内聴2人）

【第六分科会】

『聴覚障害者と災害』 ～聴覚障害者の災害対策について～

司会 嘉田 眞典 参加人数 22人（内聴障者10人）

一日目の『みんながくらしやすい地域をめざして パート2』では、聴覚障害者制度改革について、伊藤氏よりお話しいただき、その後参加者から様々な質問のやりとりをした。この流れのなかで私たちはどのように改革の取り組みを進めていけばよいか再確認する機会となった

二日目は「分科会」として三団体の合同の企画として実施した。各分科会は前年度までのテーマを引き継ぎ、各分科会で積極的な討論がなされた。

(8) 第29回兵庫県ろうあ者大会

日時 平成23年6月19日（日） 午前10時00分～午後4時30分

場所 サンシビック尼崎(大ホール) 尼崎市

内容 ・オープニング

・第一部 大会式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)
議 事 (会務報告、大会宣言、大会決議、特別決議など)

・第二部 記念講演

「軍艦島(端島)におけるろうあ者の生活について」

講師 福岡市聴力障害者福祉協会西区分会会長

吉 田 宏 氏 (福岡県在住)

・第三部 引き継ぎ式、福引(次回開催地への引継 尼崎市から小野市へ)

参加人数 480名

(9) 第38回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日時 平成24年1月15日（日）か22日（日） 午前10時半～午後4時

場所 龍野市

内容

第一部 ・式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)

・成人祝いのつどい(新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈、

成人代表決意)

・辰年生まれお祝いのつどい(紹介、お祝い、記念品贈呈)

第二部 アトラクション

- ・マジックショー(高瀬マジックサービス)
- ・手話落語 喜楽舎 馬次郎氏
- ・記念講演「NHK手話ニュースキャスターと私」 講師 那須英彰氏
- ・福引き、フィナーレ(次回開催地への引継 龍野から加古川へ)

参加人数 445名

(10) 兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日時 平成24年7月31日(日)

場所 加古川グランド

内容 ソフトボール・交流 参加7チーム

結果 優勝:小野 準優勝:姫路

(11) 幹部養成研修会

日時 平成24年3月17日(土) 午後1時30分~午後4時

場所 兵庫県立のじぎく会館

内容 講演会 テーマ「公益社団法人について」

講師 兵庫県聴覚障害者協会 副理事長 小林 泉 氏

兵庫県聴覚障害者協会 事務局長 嶋本 恭規 氏

【管理部門】

(1) 理事会

- 第1回 平成23年4月16日(土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第2回 平成23年5月21日(土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第3回 平成23年6月18日(土) 尼崎市立労働福祉会館
- 第4回 平成23年7月2日(土) 神戸市立総合福祉センター
- 第5回 平成23年8月6日(土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第6回 平成23年9月3日(土) 書面理事会
- 第7回 平成23年10月29日(土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第8回 平成23年12月17日(土) 神戸市立総合福祉センター
- 第9回 平成24年1月14日(土) たつの市福祉会館 5階研修室
- 第10回 平成24年2月4日(土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第11回 平成24年3月17日(土) のじぎく会館 大ホール

(2) 総会

【第43回決算総会】

平成23年6月18日(土) 尼崎市立労働福祉会館
出席 21協会 委任 4協会

【第44回予算総会】

平成24年3月17日(土) 兵庫県立のじぎく会館
出席 23協会 委任 2協会

(3) 事務局

・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業(公益事業、独自事業、委託事業など)を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

・公益社団法人移行に関する手続き等

これまでの社団法人(特例民法法人)から平成24年4月1日付けで公益社団法人に移行するにあたり、兵庫県文書課公益法人室との連絡・事務作業・法人の運営などを協議し、必要に応じて理事会等に提案を行いました。

【公益法人事務局会議】

メンバー：小林、嶋本、山本紋子、梅澤、吉岡、森

実施日 平成23年4/6、5/10、7/13、9/21、12/7、平成24年1/10、2/27、3/27

【関連団体・各種委員会等への協力および派遣】

(1) 聴覚障害者の医療を考える会

1. 開催経過一覧 (2011年5月～2012年3月)

期日	回	テーマ	講師名	参加人数	備考
5月26日	第135回	腰痛予防体操	堂角田功士 東神戸病院 藤藪 麻友 作業療法士	26名	あすてっぷKOBE セミナー室3
7月28日	第136回	肩痛体操	見世 沙織 東神戸病院 東川 邦和 作業療法士	20名	あすてっぷKOBE セミナー室3
9月18日	第137回	メタボ予防 (出前いのち)	山田 博史 ハリマ農業協同組合みどり診療所	26名	宍粟市 中広瀬公民館
11月24日	第138回	眼科の受診	松葉 賢一 松葉眼科医院 (中央区)	20名	あすてっぷKOBE セミナー室3
3月22日	第139回	リウマチ	阿部修治 阿部整形外科・リウマチクリニック	22名	あすてっぷKOBE セミナー室3

2. 活動を振り返って

①2011年度(平成23年度)は第135回～第139回まで、1月を除く年5回、定期的に開催することが出来た。

開催は奇数月第4木曜日、と定例化している。1987年にスタートしてから、第139回まで継続出来た事については関係団体のご協力のおかげと感謝している。出前いのちについては今回で9回目となる。今年度は宍粟市にて開催。宍粟市の方々には会場の交渉、準備等々全面的に協力を頂いた。

②聴覚障害者のニーズに合ったテーマを選択し開催。今年度は机上の学習だけでなく、実施型の学習を取り入れた。

第135回「腰痛体操」では作業療法士の講師に、一人ひとり歩き方をチェックしてもらったり、腰の負担の軽減について指導を受けた。聴覚障害者も腰痛のある人が多く、普段の生活の中で注意出来る動作等も学習できた。また、138回「眼科の受診」では、「聞きたいことがいっぱいあるので参加しました」という聴覚障害の方もおられた。今後も聴覚障害者のニーズに合ったテーマの必要性を実感している。

③保険医協会の支援により講師派遣を受ける道筋は出来ているが、聴覚障害者の意識を高め学習・企画の必要性の理解に繋げる事が今後の課題である。

3. 今後について

①25年間継続開催の実績を絶やさず、今後も実施していきたいと考えている。

②聴覚障害者が現実的に求めている医療情報を探り、ニーズに合ったテーマを選択していきたいと思う。

③地域班での“いのちを考える会”(出前いのち)を1年に1回開催していきたいと思う。

④ “いのち”を考える会 は、3団体（兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県保険医協会・兵庫手話通訳問題研究会）で協力しながら継続されているが、今後も、兵庫県聴覚障害者協会から企画・運営の積極的な関わりを期待している。

（2）ろう教育フォーラム in 兵庫

日 時 平成24年2月19日（日）12：30～16：30

場 所 三田市総合福祉保健センター

参加者 147名

- 内 容
- ・講演-1 遠藤良博先生（ろう者、宮城県立聴覚支援学校教諭）
「東日本大震災、そのとき私たちは・・・
東北各地のろう学校被災状況から～」
 - ・講演-2 今村彩子氏（ろう者、映像ドキュメンタリー作家）
「映像を通してみる・・・～人との絆（つながり）～」
 - ・質疑応答コーナー

平成23年3月、東日本大震災で東北各地のろう学校被災状況により、私たちは何をしなければならないのか、どのように支援していくかをテーマに、講演を2つ設定しました。聞こえない子どもたちへ熱い思いを注ぐ気持ちが伝わり、また、今村さんの映像を通して、絆がより深いものであることを改めて知ることができました。人のつながりを学び、ろう教育現場で活かせるようにしなければならぬと感じました。

（3）兵庫県ろうあ者労働フォーラム

開催日：2011年8月23日

参加人数：聴覚障害者19名 健聴者6名 参加人数合計、19名

『①東京のジョブコーチ事業について』

講師：矢野 耕二氏（東京都聴覚障害者自立支援センター 相談支援員）

『②グループ討論』

午前はジョブコーチ事業について詳しく講演していただきました。午後からは意見交換をして頂きました。その中で職場の悩み、本音を出せるところ、いろいろ解決できない問題、沢山あります。兵聴協や情報センターの中でジョブコーチを取り入れ全体的な障害者の支援を作っていきたいと改めて思いました。そのためには県内の手話協力員、ナビゲーターの協力を得ながら作っていきたいと考えています。学校の子ども達、県内には4校ありますが、ろう学校ではマナー問題どんな風に指導しているのか調査していきたく思います。私たちの要望はろうあ者と健聴者のジョブコーチ員が必要。もう一つはろうあ者の悩みが出せる場所や相談員のあり方を福祉対策部と共に考えていきたく思います。

(4) 手話通訳制度化推進委員会

【定例会議】第 291～302 回

毎月第 4 金曜日 19：00～21：00（9 月のみ第 3 金曜日）

場所：神戸市立総合福祉センター

委員：兵聴協（嘉田、山本）、県サ連（尾形、樋口）、兵通研（池上、笹倉）、
神戸ろう協（松坂）、神戸市サ連（山田、寺鼻）、神戸聴覚特別支援学校（緒方）

【活動内容】

①第 16 回 “なるほど ザ 制度化” 地域密着型学習会

日時：平成 24 年 3 月 18 日 13：30～16：30 場所：姫路市自治福祉会館

テーマ：「地域の制度を考えよう」 参加人数 37 名（ろう 22 名、聴 15 名）

②県立聴覚特別支援学校訪問

姫路：平成 24 年 2 月 9 日（木） 参加生徒 10 名

神戸：平成 24 年 2 月 23 日（木） 参加生徒 22 名

今年度卒業する高等部 3 年生が対象。聴覚支援学校向けパンフレットの配布と DVD
による制度説明を行い、通訳依頼の際の経験談などを紹介した。

③委員会内勉強会

日時：平成 23 年 8 月 19 日 19：00～21：00 講師：伊藤 正氏

テーマ：「これからの手話通訳制度」～障がい者制度改革推進委員会の動き～

参加者：制度化委員（ろう 3 名・聴 7 名）、三団体理事、役員（ろう 1 名・聴 5 名）

④『手話通訳制度って何？』のパンフレット配布（10/5）

コミュニケーション事業担当者会議の場で各市町に 10 部配布（39 市町と神戸市 11
区）。

⑤兵聴協公益法人化に伴う委員会「規約」の作成

⑥その他

- ・三団体 2DAY 研修会 分科会手話通訳制度担当「手話通訳制度を元気にしよう！！」
東日本大震災の救援活動で現地に赴いた通訳者に状況報告をしていただき、設置通
訳者の必要性を理解し、兵庫県内の設置通訳者不在地域に関し、どのように取り組
んでいけばよいかを考えた。 討議の柱：「設置通訳者の重要性」、「派遣事業の現
状を考える」
- ・近畿手話通訳問題研究討論集会 第 1 分科会「制度」 共同研究者嘉田委員長
- ・兵庫県手話通訳者認定試験（統一試験）の実施報告

【総括】

・制度の理解を深めるために、今年度も“なるほど ザ 制度化” 地域密着型学習会を開
催した。高松で問題になっている派遣の範囲についても話し合った。

・コミュニケーション支援担当者会議において、県モデル要綱が各市町に提示された。
これは、制度化が作成した派遣モデル要綱案をもとにしたものである（この会議は行政

職員の参加が増えている。県社会参加支援係係長からは設置通訳者が重要であるとの説明があった)。

・派遣事業は県下全域で実施されているが、未だ大きなばらつきがあり、この市町間格差をなくしていくためには各地域において地道な行政交渉を重ねることが重要と考える。

・今後も委員会内で勉強会を行うなど委員自身も学習し、兵庫により良い制度の実現をめざしていく。

(5) 兵庫県手話通訳頸肩腕障害対策委員会

【定例会議】毎月第2月曜日 19時より 神戸市立総合福祉センター

【企画班】

1. けいわん対策委員会主催学習会

①ノルディックウォーキング (参加者 25名)

日 時：5月22日(日) 10:00~12:00

コース：ポートライナー神戸空港周辺

講 師：日本ノルディックウォーキング協会公認指導員 吉岡芳弘氏

②けいわん学習会「こころの病気を正しく理解する」(参加者 22名)

日 時：12月18日(日) 13:30~15:30

会 場：新長田勤労市民センター 会議室3

講 師：こころの健康センター 所長 柿本裕一 氏

<評価と課題>

- ・体験型学習会、ノルディックウォーキングは沢山の人の参加してもらい、楽しみながら、自分の体について顧みる機会を持つ事ができた。
- ・知識学習会としての「心の病気を正しく理解する」は、けいわん防止のための幅広い学習として企画。内容については好評だった。

2. 講師派遣

①オルグ

日 時：5月31日(火) 19:00~

会 場：サークル例会「若葉」

講 師：けいわん対策委員(仲井・波戸)

<評価と課題>

- ・オルグについては、対策委員会からの積極的な働きかけが弱く、講師依頼が1件だけだったのは残念。今後けいわんについて理解を広めるためにも、積極的な働きかけが必要。

3. 委員会オリエンテーション

①「けいわんって何？」～兵庫の活動を振り返る～ (参加者 15名)

日 時：10月24日(月) 19:00～
会 場：神戸市立総合福祉センター
講 師：仲井正 氏

<評価と課題>

- ・三団体新役員の参加者なし。三団体としてけいわんについての取り組みを考えていく必要がある。

4. けいわん対策委員の再学習

- ・全通研健康対策部の情報を得ることが出来たが、他府県の健康対策部との情報交換の機会が持てなかった。

【ニュース班】

①「けいわんニュース」毎月定期発行

<評価と課題>

- ・可能な限りの最新情報と問題提起・学習の呼びかけを掲載。“読みやすい紙面作成”を心がけた。

②埴田先生講演の記録化

<評価と課題>

- ・パンフレット化から記録化に変えたが、取り組めなかった。役割分担も考えていきたい。

③「STOP・ザ・けいわん」パート2の普及

<評価と課題>

- ・学習会や行事の時、けいわん検診の時など頒布に努めた。今後も積極的に普及に努める。

【アンケート班】

④職場アンケートの実施

- ・兵聴協、各ろうあ協会、作業所、等関係施設に対して職場アンケートを実施。

配布団体：18 (130名) 回答：77名

<評価と課題>

- ・各職場の所属長からアピールをしてもらったが、100%の回収は難しかった。浸透不足もあり完璧なデータが揃わなかったが、現在集計中。集計終了後は各職場に送り、職場環境や健康問題の改善につながるよう取り組んでいきたい。

【三役】

①けいわん対策委員会のあり方

- ・対策委員会活動について

<課題と評価>

- ・会議の欠席者が多く、班単位での動きをせざるを得なかったように思う。
- ・けいわんについての学習会など各団体への働きかけをしていく。

・けいわん健診結果を受け、患者への支援についての話し合いが出来なかった。

②兵庫県立聴覚障害者情報センター主催けいわん健診への協力

- ・2011年 9月8日(木) 西宮会場 20名 10月13日(木) 高砂会場 31名
9月20日(木) 神戸会場 35名 9月27日(火) 44名
- ・健診結果(情報センター申し込み分) 兵聴協職員等受診未の為途中経過

(2月14日現在)

判定結果	計
A : 健常期	34名
B1 : 疲労期	73名
B2 : 初期	21名
B3 : 顕性期	1名
C : 重症・遷延期	1名
計	130名

- ・上記以外独自主催のけいわん健診受診者(兵庫県全体 184名)
判定結果 (A 54名・B1 98名・B2 29名・B3 2名・C 1名)

【対策委員会メンバー】

委員長：岩林恵子(兵聴協) 事務局：丸山よい(兵通研) 会計：中村千鶴子(兵通研)
企画：仲井正(兵聴協) 切塚令子(兵通研) 苗村裕美(県サ連)
編集：岩本吉正(兵聴協) 前川智美(県サ連) 小西博子(協力員)
アンケート：波戸雅幸(県サ連) 鈴木奈麻美(協力員) 梅澤仁士(協力員)

(6) 災害対策委員会

【定例委員会】 毎月第2月曜日 19:30~21:00

於：神戸市立総合福祉センター

4/11 5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/17 11/14 12/12 1/16 2/13 3/12

【構成委員】

(兵聴協) 嘉田、志方 (県サ連) 早柏、吉村 (兵通研) 馬田、鞍富

【検討事項】

- ①災害救援対策委員会の活動内容について
- ②三団体合同2DAY研修会『聴覚障害者と災害』の分科会の内容について
- ③『聴覚障害者災害支援ハンドブック〜』について
- ④『ろうあ兵庫』掲載内容について
- ⑤東日本大震災関連

【活動内容】

1. 『聴覚障害者災害支援ハンドブック〜阪神・淡路大震災の経験から〜』作成
聴覚障害者が災害時に困ること、必要な配慮、コミュニケーションの方法などを、兵

兵庫県立聴覚障害者情報センターとともに、一般の人が見てわかりやすいようにイラスト付きでまとめた。

ハンドブックは県下各ろうあ協会のほか、避難所に指定されている県下の小学校や、神戸市消防局などに配布。また近畿ろうあ者大会や近畿手話のつどいにて紹介。

2. 『避難所マップ』作りの推進

- ・三団体合同 2DAY 研修会、オルグなどで継続して呼びかける
- ・第二次避難所（福祉避難所）設置を行政に働きかけることを勧める

3. 「三団体合同 2DAY 研修会」（11/6）於：神戸市立総合福祉センター 分科会「聴覚障害と災害～聴覚障害者の災害対策について～」 参加者 22 名（内聴障者 10 名）

4. 兵庫県合同防災訓練（2/26）於：朝来市

- ・兵庫県障害者支援課、兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センターとともに参加

5. 啓発事業

- ・ろうあ兵庫に『災害救援対策委員会ニュース』を掲載
- ・オルグ 10/10 東灘区 10/31 阪神北くすのき学級
11/13 県サ連阪神ブロック学習会 11/23 要約筆記研修会
- ・聴覚障害者文化祭（10/8）にて、防災に関するパネル展示
- ・聴障ネット学習会等で「ひょうご防災ネット」登録へのよびかけ

【総括】

- ◆「聴覚障害者災害支援ハンドブック」の活用を関係機関だけでなく、公的な機関への働きかけの推進。
- ◆緊急時の情報保障・伝達方法等、支援体制の確立にむけた取り組みを引き続き行う。

（7）労働連絡会

- ・年 4 回会議
第 1 回 5 名 神戸市立総合福祉センター
第 2 回 9 名 神戸市立総合福祉センター
第 3 回 14 名 神戸市立総合福祉センター
第 4 回 14 名 神戸市立総合福祉
- ・内容 意見交換
地域の手話協力員の行動範囲
2011 年兵庫県ろうあ者労働問題フォーラムの内容
労働セミナーの内容

地域の協会の連携について
その他

(8) 聴覚障害者関連施設検討チーム

会議日：4/13、5/24、8/3

構成委員：大矢、嘉田、小林、岩本、嶋本

(9) 手話研究プロジェクト

活動日：4/11、5/9、6/13、7/11、8/8、8/20（オルグ/丹波）、9/12、10/17、11/14、
12/12、1/16、2/5（記録）

構成委員：今泉、末吉、井上、福島、村上、辻井、山本

昨年度に配布したアンケートを西播ブロックの一部以外、回収済。

2月5日、北播ブロックでアンケート回答をもとに確認しながら、手話表現を収録（記録）を行った。

(10) 手話講義編集委員会

会議日：4/25、5/23、6/20、8/29、10/26、11/30

構成委員：（兵聴協）岩林、迫田、遠藤、井上、山本（認通）竹中、山下

7つテーマのうち、2つのテーマ完成。

(11) 代表者の派遣

1. 聴覚障害者センター支援委員会

【定例会議】 第2水曜日 18時30分～21時

於：県立聴覚障害者情報センター会議室

【取り組み報告】

- ・センター事業の報告と意見交換
- ・要望書作成（兵庫県障害者支援課に提出 23年9月）
- ・センター機能の拡充及びランチについての意見交換
- ・学習会の開催計画

【構成団体】

兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・兵庫盲ろう者友の会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記こうべ・兵庫手話通訳問題研究会・兵庫県手話サークル連絡会・神戸市手話サークル連絡会

2. 聴覚障害者制度改革推進兵庫本部

会議日：4/19、5/23、6/20、7/29、8/22、9/20

構成委員：【兵聴協】 岩林・嶋本【兵通研】 谷口・内山【県サ連】 平塚・苗村
【県難聴協】 中島【市難聴協】 田中【盲ろう者友の会】 今川
【県要連】 吉田

(12) ひょうご聴障ネット

<ひょうご聴障ネットの目的>

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「兵庫高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立された。

1. 2011年度の活動

(主催事業・行事)

- 総会・創立5周年記念講演会(藤井克徳氏)・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード 5月8日(日)
- 夏の学習会「災害と障害者支援～3.11 そのとき障害者は…～」大西一嘉氏 8月21日(日)
- 兵庫県聴覚障害者文化祭 10月8日(土)
- 県議会への働きかけ 議会訪問 10月4日(火)
- 手話カフェ 毎月第3水曜日、神戸市灘区水道橋筋商店街「café P/S」にて営業。
- 手話カフェ5周年記念お料理教室 11月26日(土)
- 年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- 各地域へのオルグ活動
- 役員会 毎月第3木曜日
- 事務局会議 毎月第2、4木曜日
- 2012年ふくろうカレンダー 神戸サンライオンズクラブ様の支援により作成、販売。

(協力事業・行事)

- ふくろう・ふれ愛まつり 10月23日(日)
- 「2011ストップ・ザ応益負担兵庫集会」に参加 10月13日(木)
- 10.28 JDF大フォーラム「創ろう みんなの障害者総合福祉法を！」10月28日(金)
- 全関西集会 2012年2月29日(水)
- 3.8緊急集会(主催：聴覚障害者制度改革推進兵庫本部) 2012年3月8日(木)
- 神戸市の休日急病相談所へのFAX設置への取り組み
- 第19回障害者の明日を語り合うつどい 7月24日(日)

○障害者権利条約研究会

●8月6日(土) 「権利条約と差別禁止法」 藤原精吾弁護士

●9月24日(土) 「障害者と社会保障」 瀧澤仁唱氏

●10月22日(土) 「障害者権利条約と総合福祉法」 鈴木勉氏

●11月13日(日) 「障害者制度改革の現状と課題」 佐藤久夫氏

○3.11 復興支援コンサート&シンポジウム 3月11日 フロア発言者として参加
<支援金>

支援先ーおのころの家

(13) 手話通訳者の団体との連携

兵庫県手話サークル連絡会、兵庫手話通訳問題研究会と当協会との連携を密にするため、次のとおり連絡会議、研修会を開催。

1. 四団体トップ会議

手話関連団体及び社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取組等を中心に兵庫における聴覚障害者の社会参加を発展を目指していく。

メンバー：兵聴協、県サ連、兵通研、社福各団体の3役及び5役

場 所：兵聴協事務所分室

実施日：4/26、5/26、6/30、8/9、9/13、10/24、11/21、12/20、1/25、2/27、3/21

2. 三団体合同会議

10月29日の合同会議では通常会議を1時間、実施しました。その後は障害者自立支援法に対する行方及び国の姿勢が曖昧な状況の中、全日本ろうあ連盟及び障がい者制度改革推進会議総合福祉部会構成員である西滝理事をお招きし、基本法と総合福祉法の骨子についてお話し頂き、私たちが取り組むべき事を再確認しました。

実施日：平成23年 4月16日(土)兵庫県立聴覚障害者情報センター
午後2時～4時 約35名

10月29日(土)兵庫県立聴覚障害者情報センター
午後1時～2時
午後2時～4時

講演会「基本法と総合福祉法の骨子」について

講師 財団法人全日本ろうあ連盟 西滝憲彦理事

約65名

(14) 各種大会、研修会への協力および派遣

1. 県内の各種身体障害者に関する大会への協力

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会） 年2回（神戸）

2. 近畿及び全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第59回全国ろうあ者大会（佐賀）平成23年6月8日～12日
- ・第61回近畿ろうあ者大会（大阪）平成23年10月2日
- ・第44回全国手話通訳問題研究集会（大分）平成23年8月26～28日
- ・第28回全国手話通訳問題研究討論集会（栃木）平成24年2月11日，12日
- ・第28回近畿手話通訳問題研究討論集会（京都）平成23年12月10日，11日
【嘉田眞典・岩林恵子・岩本吉正（共同研究者）】
- ・第45回全国ろうあ者体育大会（愛知）平成23年9月15日～18日
- ・第23回ろう教育を考える全国討論集会（三重）平成23年8月19日～21日
- ・第21回近畿ろう教育フォーラム（和歌山）平成24年2月4日 【木村昌範】
- ・第3回近畿手話のつどい（和歌山）平成23年12月25日 【山本紋子】
- ・第17回近畿けいわんフォーラム（滋賀）平成23年11月3日 【山本紋子】
- ・第21回近畿手話サークルフォーラム（奈良）平成24年3月25日
【今泉友幸（助言者）】
- ・第8回近畿労働フォーラム（大阪）平成23年8月7日
- ・第26回近畿ろうあ者将棋大会（和歌山）平成23年7月17日
- ・2011年度近畿ろうあ連盟 幹部研修会（和歌山）平成24年1月21日，22日

3. 全日本ろうあ連盟、近畿ろうあ連盟の役員会などへの代表派遣

- ・第62回全日本ろうあ連盟評議員会
【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、志方龍、岩林恵子、岩本吉正、古隆喜】
- ・東日本大震災に関する討論集会（千葉）平成23年11月22日，23日
【小林泉、嶋本恭規、山本紋子、甲斐更紗】
- ・第16回全国手話対策部会議（栃木）平成24年2月10日，11日 【山本紋子】
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（和歌山）平成23年1月22日
【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、志方龍、山本紋子、木村昌範、木戸めぐみ】
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）平成23年4月29日
【本郷、小林、嶋本、嘉田】
- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（和歌山）平成23年1月21日
【本郷、小林、嶋本、嘉田】
- ・2011年度近畿地区専従職員研修会（和歌山）平成23年9月8日～10日
【小林泉、嶋本恭規、山本紋子】
- ・第1回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成23年5月7日

【井上健司】

- ・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成23年7月23日

【井上健司、山本紋子】

- ・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（滋賀）平成23年11月3日

【山本紋子】

(15) ひょうご聴覚障害者作業所運営委員会報告

県内の聴覚障害者作業所関係者が集い、それぞれの作業所の現状や情報交換や意見交換を行いました。

2011年度は、作業所通所者同士の交流として「作業所なかまふれあい祭り」を開催し、職員、利用者、保護者ら70名以上の参加者がありました。

1. 事務局会議・全体会

日程	場所	参加作業所名
事務局会議		
23.4/21(木)	兵聴協事務所	橋詰委員長、岩本事務局
4/28(木)	兵聴協事務所(会計監査会)	橋詰委員長、山田会計担当
7/5(木)	神戸：フレンドリー	橋詰委員長、岩本事務局、城野会計担当
24.3/22(木)	三ノ宮：デリカフェ	橋詰委員長、岩本事務局、城野会計担当
全体会		
23.4/16(土)	神戸ろうあハウス	たつのこ、神戸、おのころ、はりま
5/26(木)	神戸市立総合福祉センター	たつのこ、神戸、おのころ、はりま
7/21(木)	神戸ろうあハウス	たつのこ、神戸、おのころ、はりま
9/6(火)	神戸市立総合福祉センター	たつのこ、神戸、おのころ、はりま
11/15(火)	神戸市立総合福祉センター	たつのこ、神戸、おのころ、はりま、たじま
24.2/10(金)	神戸市立総合福祉センター	たつのこ、神戸、おのころ、はりま

2. 研修会

目的：作業所の通所者や地域で暮らすろう重複障害者の実態を知り、知識を深めて私たちが支援できる方法は何か、利用者と共に生きることを学ぶ研修会を行う。

日程：平成23年9月25日（日）午後1時～3時

場所：神戸市立総合福祉センター2階（第6研修室）

テーマ：「ろう重複障害者の支援について」

講師：三ツ谷 直子 氏（京都市聴言センター職員）

参加者数：約40名

3. 作業所なかまふれあい祭り

日程：平成23年10月8日（土）

場所：県立聴覚障害者情報センター

参加作業所：たつのこ、神戸、おのころ、はりま、たじま

【参考資料】

(1) 兵庫のろう教育を語り合う会

定例会議 毎月第3水曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター
機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「兵通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容や報告、ろう教育に関する情報などを掲載。

<総括>

平成23年度は、東日本大震災により東北各地のろう学校被災に対する救援・支援に力を入れてきた一年でもありました。また、改正障害者基本法が成立したことにより、手話は言語であることが認められ、これからの教育現場で大きく変革していくことを期待しています。「手話言語法」(仮称)の法制化が課題である今、私たちはどう進めていくかを様々な情報や知識を基に、真剣に考えていきたいと思う所存です。

<今後の方針>

1. 「第16回ろう教育学習会」(夏)、「第15回ろう教育フォーラム in 兵庫」(冬)への取り組み
2. 聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り(相談、訪問、交流等)
3. 聴覚障害のある教員の増員及び情報保障
4. 県下聴覚特別支援学校や行政関係(県・市教育委員会)との連携

(2) 各協会手話対策部会議

開催日: 4/4、5/9、6/6、7/4、7/30、9/5、10/3、11/12、12/5、1/9、2/6、3/6

開催場所: 神戸市立総合福祉センター、加古川市総合福祉会館

(3) 新しい手話を学ぼう手話学習会

日本手話研究所の標準手話確定普及研究部にて研究・議論を重ねて生まれた「新しい手話」の必要性を知り、普及を図った。(赤い羽根募金事業として開催)

開催日: 平成23年7月30日(土) 13:30～16:00

開催会場: 神戸市立総合福祉センター

参加人数: 123名(ろう者50名、聴者73名)

(4) 国際手話入門講座

国際手話の普及と啓発、外国への関心を向け、グローバルな視点、幅広いコミュニケーション能力を身につける一步になる目的として、NPO法人日本ASL協会が年賀寄附金配分事業として開催するにあたって、開催地として宣伝、受付窓口、会場提供を行った。

開催日：平成23年10月12日（水） 19：00～21：00

開催会場：神戸市立総合福祉センター

講師：郡美矢氏

参加人数：16名

（5）手話言語法（仮称）フォーラム

手話言語法（仮称）制定推進事業として、聴覚障害者を取り巻く法律について一緒に勉強し造形を深め、意見を法案骨子（案）に反映させるために、全国5ブロックでフォーラムを開催。日本財団、全日本ろうあ連盟と連携して、開催地として宣伝、受付窓口、会場予約、進行などの事務的な処理を協力した。

開催日：平成23年10月22日（土） 12：30～16：00

開催会場：伊丹アイフォニックホール

参加人数：約140名

（6）2011年度組織部活動報告

2011年度の組織部活動においては、障害者制度改革の推進に深く関係する、情報・コミュニケーション署名・パンフレット普及運動、手話言語法パンフレット普及運動の呼びかけと状況報告を中心に行いました。また、兵聴協・県サ連・兵通研の三団体での合同学習会である、三団体2DAY研修会の準備・会場設営・講師打診なども併せて行って参りました。その他、県内における組織強化、地域活動支援の一環として、相生ろうあ協会等の地域協会へのオルグ活動・相談支援など地域のろうあ者支援に寄り添った活動も行っていました。

今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、地域の組織強化を重点的にふまえて継続的に活動してまいります。